

J-RFID-SYSTEM 機能仕様書

2020年 2月

一般社団法人 日本寝具寝装品協会

1	概要	9
1.1	システム概要	9
1.2	機能一覧	9
1.3	システム構成	10
1.4	ハードウェア構成	11
1.5	ソフトウェア構成	11
2	RFID タグ発注 Web アプリケーション	12
2.1	概要	12
2.1.1	画面一覧	12
2.1.2	画面遷移図	13
2.2	ログイン画面	14
2.2.1	画面イメージ	14
2.2.2	処理内容	14
2.3	発注履歴一覧画面	16
2.3.1	画面イメージ	16
2.3.2	処理内容	17
2.4	新規発注画面	18
2.4.1	画面イメージ	18
2.4.2	処理内容	18
2.5	発注明細画面	21
2.5.1	画面イメージ	21
2.5.2	処理内容	22
2.6	発注履歴一覧(管理者)画面	23
2.6.1	画面イメージ	23

2.6.2	処理内容	24
2.7	発注明細(管理者)画面	25
2.7.1	画面イメージ	25
2.7.2	処理内容	26
3	MANICA リテールハンディクライアントアプリケーション	29
3.1	概要	29
3.1.1	画面一覧	29
3.1.2	画面遷移図	30
3.1.3	各処理で読み取る商品一覧	31
3.2	ログイン画面	32
3.2.1	画面イメージ	32
3.2.2	処理内容	32
3.2.3	上位システムとの通信	33
3.3	メインメニュー	34
3.3.1	画面イメージ	34
3.3.2	処理内容	35
3.3.3	上位システムとの通信	35
出荷画面	36	
3.4	36
3.4.1	画面イメージ	36
3.4.2	処理内容	37
3.4.3	上位システムとの通信	37
3.4.4	読み取り対象となる商品	37
3.5	積送入荷画面	38

3.5.1	画面イメージ	38
3.5.2	処理内容	39
3.5.3	上位システムとの通信	40
3.5.4	読み取り対象となる商品	40
3.6	棚卸画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
3.6.1	画面イメージ	41
3.6.2	処理内容	42
3.6.3	上位システムとの通信	42
3.6.4	読み取り対象となる商品	43
3.7	出荷(指示有)画面	44
3.7.1	画面イメージ	44
3.7.2	処理内容	45
3.7.3	上位システムとの通信	45
3.7.4	読み取り対象となる商品	45
3.8	商品検索画面	46
3.8.1	画面イメージ	46
3.8.2	処理内容	46
3.8.3	上位システムとの通信	47
3.9	タグ情報照会画面	48
3.9.1	画面イメージ	48
3.9.2	処理内容	49
3.9.3	上位システムとの通信	49
4	MANICA リテール PC クライアントアプリケーション	50
4.1	概要	52

4.1.1	画面一覧	52
4.1.2	画面遷移図	53
4.2	ログイン画面	54
4.2.1	画面イメージ	54
4.2.2	処理内容	54
4.3	メインメニュー	56
4.3.1	画面イメージ	56
4.3.2	処理内容	57
4.4	商品検索条件入力画面	58
4.4.1	画面イメージ	58
4.4.2	処理内容	59
4.5	在庫情報照会画面(拠点単位)	60
4.5.1	画面イメージ	60
4.5.2	処理内容	61
4.6	在庫情報照会画面(商品単位)	62
4.6.1	画面イメージ	62
4.6.2	処理内容	63
4.7	売上情報照会画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
4.7.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
4.7.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
4.8	棚卸結果確認画面	64
4.8.1	画面イメージ	64
4.8.2	処理内容	65
4.9	棚卸履歴照会画面	66

4.9.1	画面イメージ	66
4.9.2	処理内容	67
4.10	商品処理履歴照会画面	68
4.10.1	画面イメージ	68
4.10.2	処理内容	69
4.11	個別商品処理履歴照会画面	70
4.11.1	画面イメージ	70
4.11.2	処理内容	72
4.12	在庫ステータス照会・削除画面	73
4.12.1	画面イメージ	73
4.12.2	処理内容	74
4.13	入荷・移動・返品処理照会画面	75
4.13.1	画面イメージ	75
4.13.2	処理内容	76
4.14	入荷・移動・返品却処理詳細照会画面	77
4.14.1	画面イメージ	77
4.14.2	処理内容	78
4.15	入荷予定状況照会画面	79
4.15.1	画面イメージ	79
4.15.2	処理内容	80
4.16	入荷予定状況詳細照会画面	81
4.16.1	画面イメージ	81
4.16.2	処理内容	82
4.17	出荷指示状況照会画面	83

4.17.1	画面イメージ.....	83
4.17.2	処理内容.....	84
4.18	出荷指示状況詳細照会画面.....	85
4.18.1	画面イメージ.....	85
4.18.2	処理内容.....	86
4.19	拠点メンテナンス画面.....	87
4.19.1	画面イメージ.....	87
4.19.2	処理内容.....	88
4.19.3	拠点情報の追加および削除について.....	88
5	システムメンテナンスアプリケーション.....	89
5.1	処理一覧.....	89
5.1.1	処理一覧.....	89
6	クラウドサーバアプリケーション.....	89
6.1	処理一覧.....	89
6.1.1	処理一覧.....	89
7	ICタグ受発注 Web アプリケーション.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.1	概要.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.1.1	画面一覧.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.1.2	画面遷移図.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.2	ログイン画面.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.2.1	画面イメージ.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.2.2	処理内容.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.3	発注履歴一覧画面.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.3.1	画面イメージ.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

7.3.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.4	新規発注画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.4.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.4.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.5	発注明細画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.5.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.5.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.6	受注履歴一覧画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.6.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.6.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.7	受注明細画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.7.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.7.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.8	受発注履歴一覧画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.8.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.8.2	処理内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.9	受発注明細画面	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.9.1	画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.9.2	処理内容	90

1 概要

1.1 システム概要

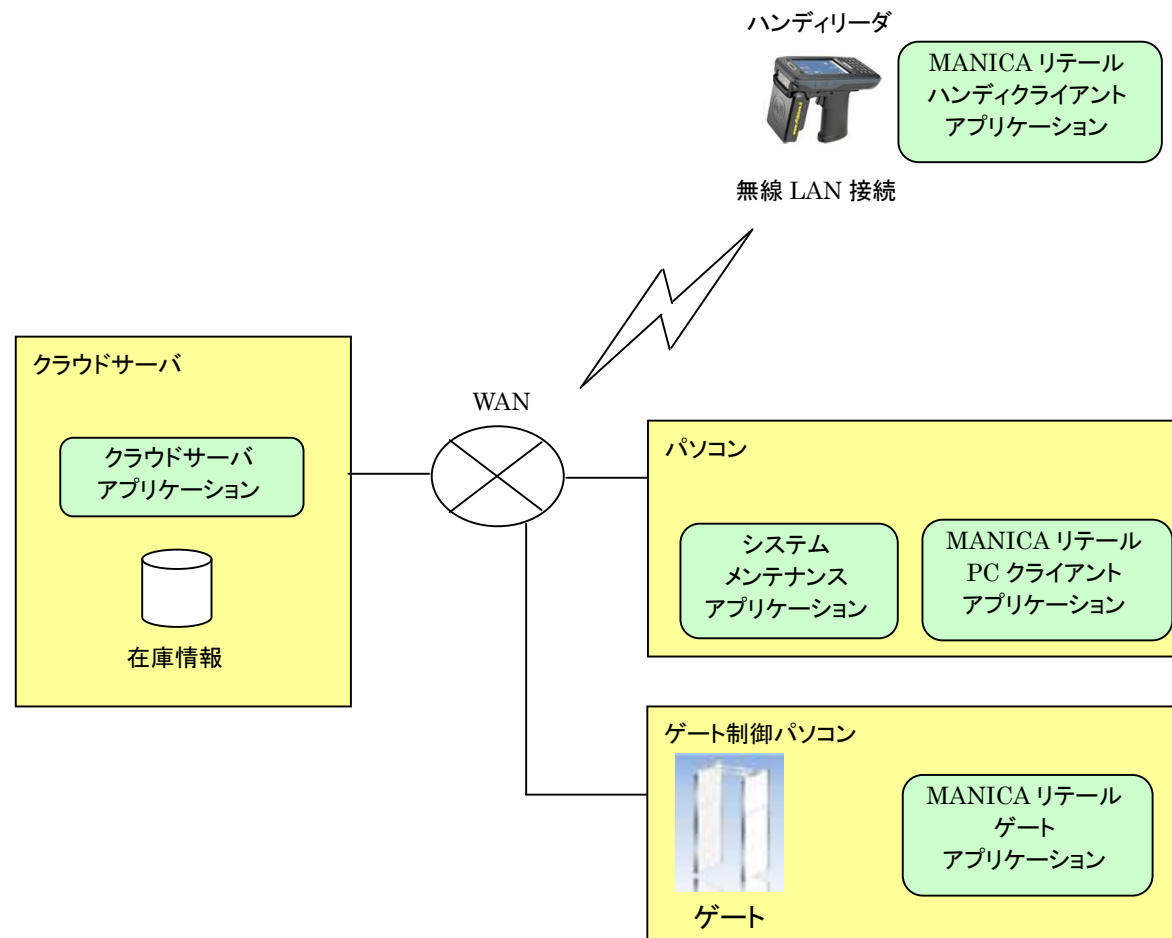
初めに RFID タグの発注を行う。発注した RFID タグを使用して拠点の商品在庫を管理する。RFID タグはハンディリーダーまたはゲートを使用して読み込む。拠点には加工仕入先、中核卸企業物流倉庫、得意先が含まれる。以下それぞれ仕入先、倉庫、店舗と呼称する。

今回の実証実験で使用する商品マスタおよび拠点マスタについては、あらかじめ協議の上、システムに登録するものとする。

1.2 機能一覧

No	機能	実施場所	使用リーダー	処理内容
1	IC タグ発注処理	中核卸		Web ブラウザ上で CSV をアップロードし、RFID 製造メーカーに RFID タグの発注情報をメール送信する。
2	出荷処理	仕入先	ハンディ	出荷する商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を移動中または出荷先の在庫にする。
3	積送入荷処理	倉庫	ハンディ	入荷予定の商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を在庫中にする。
4	棚卸処理	倉庫	ハンディ	倉庫にある商品の棚卸を行う。
5	出荷(指示有)処理	倉庫	ハンディ	出荷する商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を移動中／売上済みまたは移動先の在庫にする。
6	商品検索処理	倉庫	ハンディ	店舗／倉庫にある商品の検索を行う。
7	画面照会	任意	—	在庫情報、売上情報、棚卸結果を照会する。照会した情報は Excel にエクスポート可能にする。
8	拠点マスタメンテナンス	任意	—	拠点マスタのメンテナンスを行う。
9	システムメンテナンス	任意	—	アプリケーションの設定や自動アップデートを行う。
10	返品処理	倉庫	ハンディ/ゲート	返品された商品の RFID タグを読みこんで該当する商品を倉庫の在庫とする

1.3 システム構成



1.4 ハードウェア構成

No	名称	備考
1	パソコン	【参考スペック】 CPU: Corei3 以上 メモリ: 4Gb 以上 HDD: 10Gb 以上の空き 無線 LAN アダプタ(追加ハードウェア)
2	ハンディリーダー	デンソーウェーブ社製 BHT-1281QULWB-CE
3	クラウドサーバ	Google 社が提供する GoogleAppEngine が稼動するクラウドシステム
4	RFID ゲート	マスプロ電工製 RFID ゲート

1.5 ソフトウェア構成

No	名称	ハードウェア	備考
1	パソコン OS	パソコン	Windows7 (x86) Windows 10 (x86, x64)
2	ハンディリーダー OS	ハンディリーダー	WindowsCE5.0(ハンディリーダーに付属)
3	RFID タグ発注 Web アプリケーション	クラウドサーバ	RFID タグの発注を行う Web アプリケーション。
4	MANICA リテールハンディクライアントアプリケーション	ハンディリーダー	ハンディリーダー上で入荷、出荷、棚卸、商品検索時のタグ読み込み、タグ書き込み処理時のバーコード読み込みとタグ書き込みを行うアプリケーション。
5	MANICA リテール PC クライアントアプリケーション	パソコン	在庫情報、売上情報、棚卸結果の照会とマスタメンテナンスを行うアプリケーション。
6	システムメンテナンスアプリケーション	パソコン	MANICA リテール PC クライアントアプリケーション、MANICA リテールハンディクライアントアプリケーションのシステムメンテナンスを行うアプリケーション。
7	クラウドサーバアプリケーション	クラウドサーバ	商品在庫情報の取得／更新／照会を行うアプリケーション。
8	連携アプリケーション	パソコン	FTP サーバから取得したマスタ情報、予定情報をクラウドにアップロードする
9	MANICA リテールゲートアプリケーション	パソコン	RFID ゲートを制御し、返品処理を行う

2 RFID タグ発注 Web アプリケーション

ブラウザ上で動作する RFID タグ発注を行う Web アプリケーションプログラム。

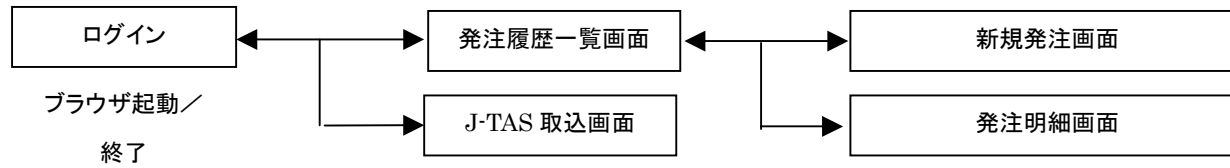
2.1 概要

2.1.1 画面一覧

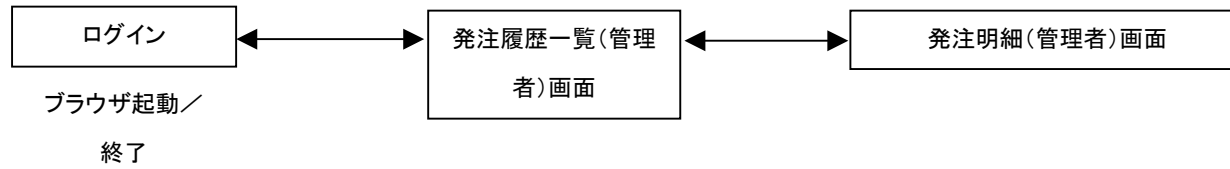
No	画面	内容	備考
1	ログイン画面	アプリケーションを使用する企業を確定する。	
2	発注履歴一覧画面	中核卸企業がログイン後に表示する。	
3	新規発注画面	CSV ファイルをアップロードし、発送先を入力する。	
4	発注明細画面	発注ごとの明細を表示する。	
5	発注履歴一覧(管理者)画面	JBA がログイン後に表示する。	
6	発注明細(管理者)画面	JBA が発注ごとの明細を表示する。	
7	J-TAS 取込画面	中核卸企業が J-TAS 連携 CSV ファイルをアップロードする。	

2.1.2 画面遷移図

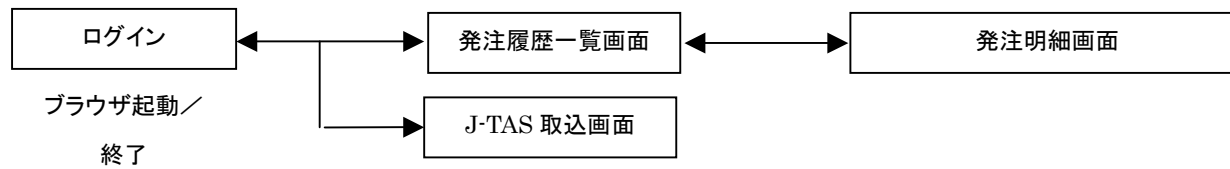
【中核卸企業の場合】



【JBA の場合】



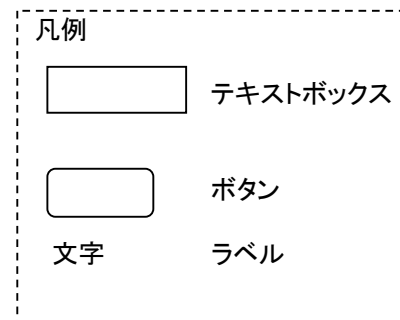
【仕入先の場合】



2.2 ログイン画面

2.2.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム	
ログイン	
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ID/パスワードを入力してください。	
<input type="button" value="ログイン"/>	



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ID	テキストボックス	処理を行うユーザの ID を入力する。店舗マスタ. 店舗コード。
2	パスワード	テキストボックス	処理を行うユーザのパスワードを入力する。店舗マスタ. パスワード。
3	ログイン	ボタン	選択したユーザでログインして履歴一覧を表示する。

2.2.2 処理内容

指定の URL を開くと、ログイン画面を表示する。

ログインボタン押下時は入力された ID/パスワードが登録されたものだった場合、ID に応じた履歴一覧を表示する。

仕入先の ID (店舗マスタ. 店舗倉庫区分=3) でログインした場合、発注履歴一覧画面を表示する。

中核卸企業の ID (店舗マスタ. 店舗倉庫区分=5) でログインした場合、発注履歴一覧画面を表示する。



JBA の ID(店舗マスタ. 店舗倉庫区分=9)でログインした場合、発注履歴一覧(管理者)画面を表示する。

2.3 発注履歴一覧画面

2.3.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム				
発注履歴一覧				
ログイン情報 中核卸 A	新規発注			
	ログアウト	2 / 3 ページ		前へ 次へ
メニュー	明細	発注番号	発注日	希望納期
発注履歴一覧	明細	107	2018/07/11	2018/8/11
J-TAS 取込	明細	105	2018/06/02	2018/7/15
	明細	101	2018/05/08	2018/06/02
	:	:	:	:

凡例

	テキストボックス
	ボタン
文字	ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	発注履歴一覧	ボタン	発注履歴一覧画面を開く。
4	J-TAS 取込	ボタン	J-TAS 取込画面を開く。
5	新規発注	ボタン	新規発注画面を開く。
6	ページ番号	ラベル	表示中のページ番号／全体のページ数を表示する。初回表示は 1 ページ目とする。
7	前へ	ボタン	－ページ前を表示する。1 ページ目表示中は非表示とする。
8	次へ	ボタン	－ページ後を表示する。最終ページ表示中は非表示とする。
9	明細	ボタン	各発注の発注明細画面を開く。
10	発注番号	ラベル	発注番号を表示する。発注番号は IC タグ受発注システム内で単調増加になるよう採番する。
11	発注日	ラベル	中核卸企業が IC タグを発注した日付を表示する。
12	希望納期	ラベル	中核卸企業の IC タグの希望納期を表示する。

2.3.2 処理内容

中核卸企業ユーザでログインした場合に、当該ユーザが発注元店舗コードと一致する発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

仕入先ユーザでログインした場合に、当該ユーザが発注先店舗コードと一致する発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

発注履歴一覧は発注番号の降順で表示する。

発注履歴一覧ボタン押下時は発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

J-TAS 取込ボタン押下時は J-TAS 取込画面を表示する。

新規発注ボタン押下時は新規発注画面を表示する。ただし、仕入先でログインした場合には非表示とする。

前へボタン押下時は 1 ページ前の発注履歴を表示する。

次へボタン押下時は 1 ページ後の発注履歴を表示する。

明細ボタン押下時は当該行の発注明細画面を表示する。

2.4 新規発注画面

2.4.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム

新規発注

ログイン情報

中核卸 A

ログアウト

メニュー

発注履歴一覧

J-TAS 取込

CSV ファイル

納品先

希望納期

選択

▼

#

発注

凡例

テキストボックス

ボタン

文字

ラベル

▼

コンボボックス

#

デートピッカー

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	発注履歴一覧	ボタン	発注履歴一覧画面を開く。
4	J-TAS 取込	ボタン	J-TAS 取込画面を開く。
5	CSV ファイル	テキストボックス	アップロードする CSV ファイルのパスを入力する。
6	選択	ボタン	CSV ファイル選択ダイアログを表示する。
7	納品先	コンボボックス	納品先(仕入先)を選択する
8	希望納期	デートピッカー	希望納期を入力する。
9	発注	ボタン	CSV ファイルをアップロードし、発注を行う。

2.4.2 処理内容

発注履歴一覧で新規発注ボタンを押下した場合表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

J-TAS 取込ボタン押下時は J-TAS 取込画面を表示する。

選択ボタン押下時は、ファイルダイアログが表示する。

ファイルダイアログで CSV ファイルを選択すると、CSV ファイルテキストボックスに CSV ファイルのパスを表示する。

納品先コンボボックスには店舗マスタ、店舗倉庫区分=3(仕入先)の一覧を表示する。

希望納期には IC タグの希望納期を入力する。

発注ボタン押下時は CSV ファイルをアップロードし、発注履歴に追加する。RFID 製造メーカー(店舗マスタ、E メール)に E メールを送信する。

発注ボタン押下後は発注履歴一覧画面を表示する。

2.4.3 E メール内容

発注番号、発注元、発注日、希望納期、納品先住所、納品先名をメール本文に記載する。

タグ情報出力を添付ファイルとする。

本文例:

RFID 製造メーカー(店舗マスタ、店舗名) 御中

下記の通り発注いたします。

発注番号: 101

発注元: 中核卸 A

発注日: 2018/05/08

希望納期: 2018/06/02

納品先住所: 〒100-0001 東京都新宿区 1-1

納品先名: 日本寝具(株)

2.4.4 発注 CSV 書式

発注用 CSV ファイルの書式は以下とする。文字は可変長とし、最大桁数は表の通りとする。

No	項目名	最大桁	内容
1	JANコード	13	JANコード
2	品名	30	
3	品番	24	
4	色	12	
5	色名称	30	
6	数量	9	
7	組成1	300	
8	組成2	300	
9	サイズ	12	
10	原産国	30	

2.5 発注明細画面

2.5.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム

発注明細

発注番号：101
発注日：2018/05/08
希望納期：2018/06/02

ログイン情報

JBA

ログアウト

メニュー

発注履歴一覧

J-TAS 取込

納品先住所：東京都新宿区 1-1
納品先名：日本寝具(株)

タグ情報出力 2 / 3 ページ 前へ 次へ

JAN コード	数量	品名	品番	色	サイズ	組成1	組成2	原産国
4912345678	100	ふとん	A001	青	150x210cm	ダウン 85%	側生地 綿 100%	日本
4997530000	200	まくら	B001	ピンク	43x63cm	表地:綿 100%	裏地:アクリル 100%	中国

凡例

テキストボックス

ボタン

文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	発注履歴一覧	ボタン	発注履歴一覧画面を開く。
4	J-TAS 取込	ボタン	J-TAS 取込画面を開く。
5	発注日	ラベル	発注日を表示する。
6	発注番号	ラベル	発注番号を表示する。
7	希望納期	ラベル	希望納期を表示する。
8	納品先住所	ラベル	IC タグの納品先住所を表示する。店舗マスタ. 住所。
9	納品先名	ラベル	IC タグの納品先名を表示する。店舗マスタ. 店舗名。
10	タグ情報出力	ボタン	生成したタグ ID と組成情報を CSV 形式でダウンロードする。
11	ページ番号	ラベル	表示中のページ番号 / 全体のページ数を表示する。初回表示は 1 ページ目とする。
12	前へ	ボタン	一ページ前を表示する。1 ページ目表示中は非表示とする。
12	次へ	ボタン	一ページ後を表示する。最終ページ表示中は非表示とする。

No	項目名	種別	内容
16	JAN コード	ラベル	JAN コードを表示する。
17	数量	ラベル	JAN コードごとの発注数量を表示する。
18	組成情報	ラベル	組成情報を表示する。

2.5.2 処理内容

発注履歴一覧で明細ボタンを押下した発注の発注明細の 1 ページ目を表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

発注明細は JAN コードの昇順で表示する。

発注履歴一覧ボタン押下時は発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

J-TAS 取込ボタン押下時は J-TAS 取込画面を表示する。

タグ情報出力ボタン押下時は生成したタグ ID と JAN コード、組成情報を CSV 形式でダウンロードする。

前へボタン押下時は 1 ページ前の発注履歴明細を表示する。

次へボタン押下時は 1 ページ後の発注履歴明細を表示する。

2.6 発注履歴一覧（管理者）画面

2.6.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム

発注履歴一覧(管理者)

ログイン情報
 JBA

2 / 3 ページ

	明細	発注番号	発注元	発注日	希望納期
メニュー	<input type="button" value="明細"/>	107	中核卸 A	2018/07/11	2018/8/11
発注履歴一覧	<input type="button" value="明細"/>	106	中核卸 B	2018/06/02	2018/7/15
	<input type="button" value="明細"/>	105	中核卸 A	2018/05/08	2018/06/02
	:	:	:	:	

凡例

テキストボックス

ボタン

文字
ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	発注履歴一覧	ボタン	発注履歴一覧画面を開く。
4	ページ番号	ラベル	表示中のページ番号／全体のページ数を表示する。初回表示は 1 ページ目とする。
5	前へ	ボタン	一ページ前を表示する。1 ページ目表示中は非表示とする。
6	次へ	ボタン	一ページ後を表示する。最終ページ表示中は非表示とする。
7	明細	ボタン	各発注の受注明細画面を開く。
8	発注番号	ラベル	発注番号を表示する。
9	発注元	ラベル	発注元のユーザ名を表示する。
10	発注日	ラベル	中核卸企業が IC タグを発注した日付を表示する。
11	希望納期	ラベル	中核卸企業の IC タグの希望納期を表示する。

2.6.2 処理内容

JBA ユーザでログインした場合に、すべての発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

発注履歴一覧は発注番号の降順で表示する。

発注履歴一覧ボタン押下時は発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

前へボタン押下時は 1 ページ前の発注履歴を表示する。

次へボタン押下時は 1 ページ後の発注履歴を表示する。

明細ボタン押下時は当該行の発注明細画面を表示する。

2.7 発注明細（管理者）画面

2.7.1 画面イメージ

RFID タグ発注システム

発注明細(管理者)

ログイン情報

JBA

ログアウト

メニュー

発注履歴一覧

発注番号：101
発注元：中核卸 A
発注日：2018/05/08
希望納期：2018/06/02

納品先住所：東京都新宿区 1-1
納品先名：日本寝具(株)

タグ情報出力 2 / 3 ページ 前へ 次へ

JANコード	数量	品名	品番	色	サイズ	組成1	組成2	原産国
4912345678	100	ふとん	A001	青	150x210cm	ダウン 85%	側生地 綿 100%	日本
4997530000	200	まくら	B001	ピンク	43x63cm	表地:綿 100%	裏地:アクリル 100%	中国

凡例

テキストボックス

ボタン

文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	受注履歴一覧	ボタン	受注履歴一覧画面を開く。
4	発注番号	ラベル	発注番号を表示する。
5	発注元	ラベル	発注元を表示する。
6	発注日	ラベル	発注日を表示する。
7	希望納期	ラベル	希望納期を表示する。
8	納品先住所	ラベル	IC タグの納品先住所を表示する。
9	納品先名	ラベル	IC タグの納品先名を表示する。
10	タグ情報出力	ボタン	生成したタグ ID と組成情報を CSV 形式でダウンロードする。
11	ページ番号	ラベル	表示中のページ番号 / 全体のページ数を表示する。初回表示は 1 ページ目とする。
12	前へ	ボタン	一ページ前を表示する。1 ページ目表示中は非表示とする。
13	次へ	ボタン	一ページ後を表示する。最終ページ表示中は非表示とする。

No	項目名	種別	内容
14	JAN コード	ラベル	JAN コードを表示する。
15	数量	ラベル	JAN コードごとの発注数量を表示する。
16	組成情報	ラベル	組成情報を表示する。

2.7.2 処理内容

発注履歴一覧で明細ボタンを押下した発注の発注明細の 1 ページ目を表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

発注明細は JAN コードの昇順で表示する。

発注履歴一覧ボタン押下時は発注履歴一覧の 1 ページ目を表示する。

タグ情報出力ボタン押下時は生成したタグ ID と JAN コード、組成情報を CSV 形式でダウンロードする。

JBA でログインした場合は、J-TAS シリアル No と T/C No は CSV ファイルには含めない。

前へボタン押下時は 1 ページ前の発注履歴明細を表示する。

次へボタン押下時は 1 ページ後の発注履歴明細を表示する。

2.8 J-TAS 取込画面

2.8.1 画面イメージ

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	ログイン情報	ラベル	ログインしたユーザ(企業)名を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログアウトし、ログイン画面を表示する。
3	発注履歴一覧	ボタン	発注履歴一覧画面を開く。
4	CSV ファイル	テキストボックス	アップロードする CSV ファイルのパスを入力する。
5	選択	ボタン	CSV ファイル選択ダイアログを表示する。
6	取込	ボタン	CSV ファイルをアップロードし、取込を行う。

2.8.2 処理内容

発注履歴一覧で J-TAS 取込ボタンを押下した場合表示する。

ログアウトボタン押下時はログアウトし、ログイン画面を表示する。

選択ボタン押下時は、ファイルダイアログが表示する。

ファイルダイアログで CSV ファイルを選択すると、CSV ファイルテキストボックスに CSV ファイルのパスを表示する。
取込ボタン押下時は CSV ファイルをアップロードし、履歴に追加する。在庫テーブルに J-TAS のシリアルをタグ ID ごとに登録する。
取込ボタン押下後は発注履歴一覧画面を表示する。

2.8.3 取込 CSV 書式

取込 CSV ファイルの書式は以下とする。文字は可変長とし、最大桁数は表の通りとする。

No	項目名	最大桁	内容
1	タグ ID	24	
2	J-TAS シリアル No	14	
3	T/C No	20	
4	羽毛産地国	30	

3 MANICA リテールハンディクライアントアプリケーション

ハンディリーダー上で稼動する RFID タグの読み込みおよび書き込みを行うアプリケーションプログラム。

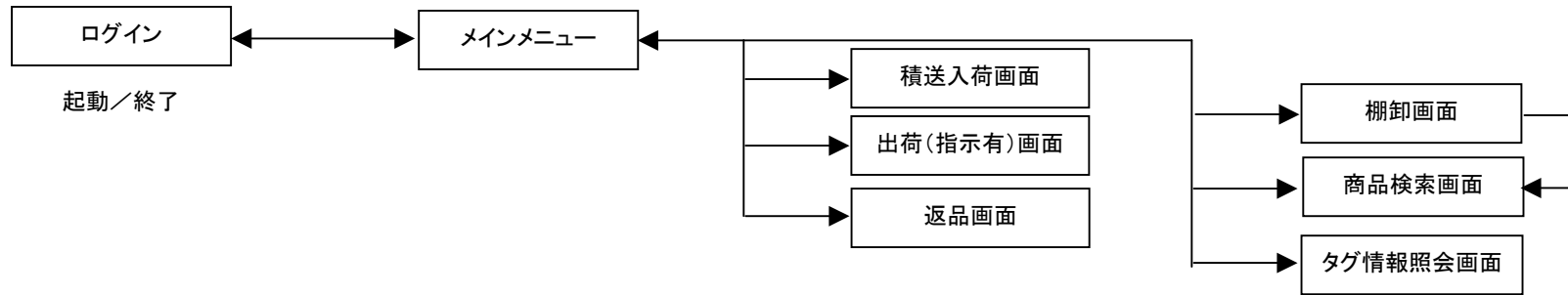
3.1 概要

3.1.1 画面一覧

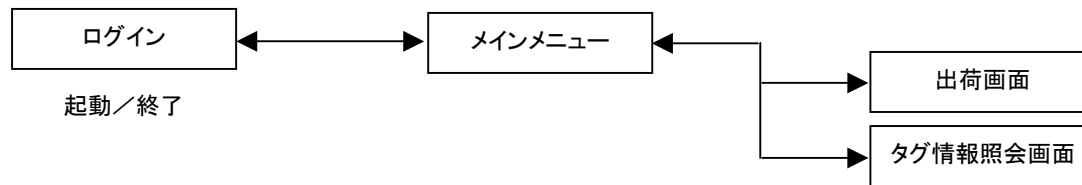
No	画面	内容	備考
1	ログイン画面	アプリケーションを使用する拠点を確定する。	
2	メインメニュー	アプリケーションのメインメニュー。	仕入先、倉庫でメニューを別にする
3	出荷画面	出荷する商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を出荷先の属性により以下のように処理する。 ・積送移動拠点の場合、移動中にする。 ・即時移動拠点の場合、移動先の在庫にする。 ・業種コードが 50 の場合、売上済みにする。	業種コードおよび積送移動／即時移動拠点の属性を拠点マスタに追加する。 仕入先のみ。
4	積送入荷画面	基幹システムから取得した入荷予定にある商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を倉庫在庫にする。	倉庫のみ。
5	棚卸画面	倉庫にある商品の棚卸を行う。	倉庫のみ。
6	出荷(指示有)画面	基幹システムから取得した出荷予定にある商品の RFID タグを読み込んで該当する商品を以下のように処理する。 ・出荷予定が積送移動の場合、移動中にする。 ・出荷予定が即時移動の場合、移動先の在庫にする。 ・出荷予定が卸出荷の場合、売上済みにする。	倉庫のみ。
7	商品検索画面	倉庫にある商品の検索を行う。	検索方法はタグ ID での検索と商品コードでの検索の2種類。 倉庫のみ。
8	タグ情報照会画面	RFID タグを読み取って書き込まれているタグ情報を照会する。	
9	返品画面	返品元から返品があったときに使用する。 ・返品元を選択しログインした倉庫の在庫にする。	倉庫のみ

3.1.2 画面遷移図

【倉庫の場合】



【仕入先の場合】



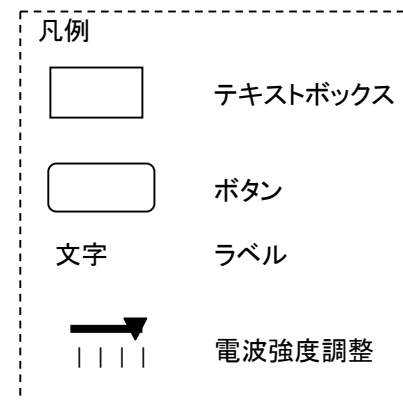
3.1.3 各処理で読み取る商品一覧

タグ読み取りを行う処理で読み取り対象となる商品の状態は以下のとおり。タグ読み取りを行わない処理は省略している。

No	処理	在庫情報						
		在庫なし	在庫がある場所＝自拠点			在庫がある場所＝他拠点		
			状態＝在庫	状態＝移動中	状態＝売上済	状態＝在庫	状態＝移動中	状態＝売上済
1	積送入荷	○	×	×	×	○	○	○
2	出荷	○	○	×	×	×	×	×
3	出荷(指示有)	×	○	×	×	×	×	×
4	棚卸	○	○	○	×	○	○	○
5	返品	○	×	○	○	○	○	○

3.2 ログイン画面

3.2.1 画面イメージ



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点コード	テキストボックス	処理を行う拠点の拠点コードを入力する。
2	社員コード	テキストボックス	処理を行うスタッフの社員コードを入力する。
3	ログイン	ボタン	入力した拠点にログインしてメインメニューを表示する。
4	終了	ボタン	MANICA リテールハンディクライアントアプリケーションを終了する。

3.2.2 処理内容

クラウドサーバアプリケーションから拠点マスタの拠点コード、代表拠点名一覧を取得してログイン画面を表示する。

拠点コード／社員コードを入力されたら該当する拠点名／社員氏名を表示する。ログインボタン押下時は入力された拠点を処理拠点としてメインメニューを表示する。終了ボタン押下にて MANICA リテールハンディクライアントアプリケーションを終了する。

3.2.3 上位システムとの通信

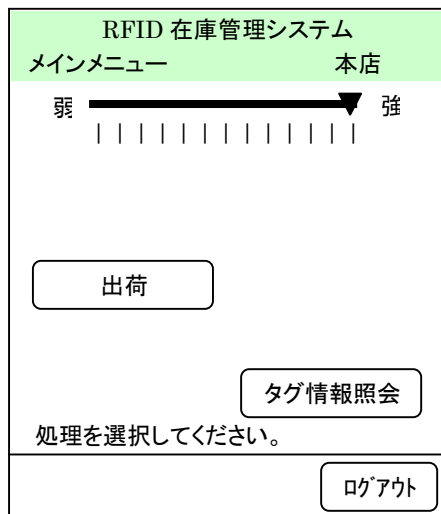
ログイン画面呼び出し時およびログインボタン押下時のみクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

それ以外では上位システムとの通信は行わない。

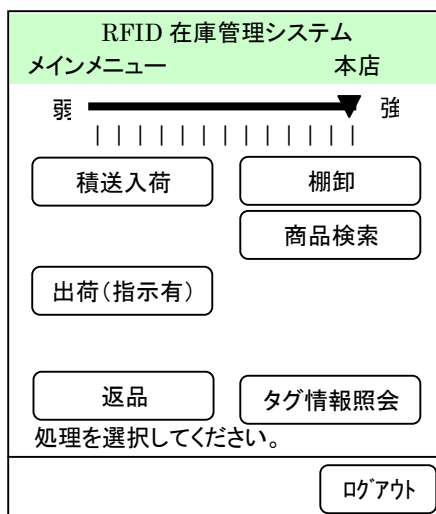
3.3 メインメニュー

3.3.1 画面イメージ


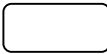

【仕入先用メニュー画面】



【倉庫用メニュー画面】



凡例

-  テキストボックス
-  ボタン
- 文字 ラベル
-  電波強度調整

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	出荷	ボタン	出荷画面を表示する。《仕入先のみ》
3	タグ情報照会	ボタン	タグ情報照会画面を表示する。
4	出荷(指示有)	ボタン	出荷(指示有)画面を表示する。《倉庫のみ》
5	積送入荷	ボタン	積送入荷画面を表示する。《倉庫のみ》
6	商品検索	ボタン	商品検索画面を表示する。《倉庫のみ》
7	棚卸	ボタン	棚卸画面を表示する。《店舗、倉庫のみ》
8	返品	ボタン	返品画面を表示する。《倉庫のみ》
9	ログアウト	ボタン	ログイン画面に戻る。

3.3.2 処理内容

ログインした拠点名を表示する。各ボタン押下にて該当する画面を表示する。

ログアウトボタン押下にて拠点名を消去してログイン画面に戻る。

3.3.3 上位システムとの通信

本画面では上位システムとの通信は行わない。

3.4 出荷画面

3.4.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

出荷 タグ読取中 本店

弱 ←————→ 強

|||||

出荷先 ▼ 詳細

JANコード	数量
4512345678901	2
4512345678902	1

読み取り点数: 9999

出荷 終了

RFID 在庫管理システム

出荷 タグ読取中 本店

弱 ←————→ 強

|||||

出荷先 ▼ JAN

詳細	数量
144015112 16	2
291896702 10	1

読み取り点数: 9999

出荷 終了

凡例

リストボックス

▼ ドロップダウン

ボタン

文字 ラベル

→
||||| 電波強度調整

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	出荷先	ドロップダウン	出荷先の倉庫を選択する。
3	詳細/JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード/詳細を切り替える。
4	JANコード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
5	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。
6	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
7	読み取り点数	ラベル	読み取ったタグの点数を表示する。
8	出荷	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信して、出荷先の移動区分に応じ、「移動中」あるいは出荷先の在庫にする。
9	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

3.4.2 処理内容

ハンディリーダーのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグに書き込まれた JAN コード単位にまとめてリストに表示する。

「詳細」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

出荷ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDをクラウドサーバアプリケーションに送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。

終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

3.4.3 上位システムとの通信

出荷画面呼び出し時、および出荷ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

3.4.4 読み取り対象となる商品


出荷画面で読み取り対象となる商品は以下のとおり

- ・在庫情報に自拠点の在庫で状態が「在庫中」で登録されている商品、あるいは「在庫なし」の商品

3.5 積送入荷画面

3.5.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム
積送入荷 本店


弱  強

入荷予定 No	出荷元
201412010003	本部
201412010002	横浜倉庫
201412010001	新宿店

選択指示数: 99

タグ読取 選択 終了

RFID 在庫管理システム
積送入荷 タグ読取中 本店


弱  強

一覧を表示

正: 99999 誤: 99999 残: 99999

入荷 終了

RFID 在庫管理システム
積送入荷 本店

弱  強

入荷予定 ▼ 詳細


JAN コード	数量
4512345678901	2
4512345678902	1

残を表示中

正: 99999 誤: 99999 残: 99999

入荷 終了

RFID 在庫管理システム
積送入荷 本店

弱  強

入荷予定 ▼ JAN


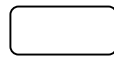

詳細	数量
144015112 16	2
291896702 10	1

残を表示中

正: 99999 誤: 99999 残: 99999

入荷 終了

凡例

-  リストボックス
-  ボタン
- 文字 ラベル
-  電波強度調整

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	入荷予定 No	リストボックス項目	未処理の入荷予定 No を降順で表示する。
3	出荷元	リストボックス項目	出荷元仕入先名を表示する。
4	選択指示数	ラベル	選択されている入荷指示Noの件数を表示する。
5	タグ読取	ボタン	タグ読取画面を表示する。
6	選択	ボタン	入荷指示Noの選択／非選択を切り替える。
7	一覧を表示	ボタン	読み取った商品を表示する。
8	詳細／JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード／詳細を切り替える。
9	JAN コード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
10	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。
11	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
12	変更	ボタン	表示内容を、「残のみ表示」「正のみ表示」「誤のみ表示」に切り替える。
13	入荷予定	ドロップダウン	入荷予定を選択する。
14	正／誤／残	ラベル	入荷予定対象商品の未読み取り件数と読み取り済み件数(入荷予定情報と合致したものは「正」、合致しなかったものは「誤」)
15	入荷	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信する。
16	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

3.5.2 処理内容

入荷予定 No 一覧画面で、対象の入荷予定 No を選択して選択ボタンを押下すると、該当の入荷予定Noが選択状態になる。

もう一度選択ボタンを押下すると非選択状態になる。タグ読取ボタンを押下すると、タグ読取画面を表示する。

クラウドサーバアプリケーションから入荷予定情報を取得して SKU 単位にまとめて画面に表示する。

「詳細」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

ハンディリーダのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグに書き込まれた JAN コードが明細行に存在する場合、明細の数量及び残数をマイナスして数量が0になった明細行は削除する。

JAN コードが明細行に存在しない、もしくは予定数量を超えた数量を読み取った場合は警告メッセージを表示して明細にマイナス値で表示する。

タグ読取停止状態の場合、画面上に「一覧を表示中」ボタンが表示されて押下するとそこまでに読み取った情報が一覧表示される。

一覧は初期状態で「残を表示」の状態、「変更」ボタンを押下するごとに表示が「正を表示中」→「誤を表示中」→「残を表示中」と切り替わる。
入荷ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDと結果をクラウドサーバアプリケーションに送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。
終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

3.5.3 上位システムとの通信

積送入荷画面呼び出し時、および受入ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

3.5.4 読み取り対象となる商品

積送入荷画面で読み取り対象となる商品は以下のとおり


- ・在庫情報に自拠点の在庫として登録されていない商品

3.6 棚卸画面

3.6.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

棚卸 タグ読取中 本店

弱  強


一覧を表示

正:99999 誤:99999 残:99999

棚卸 タグ検索 終了

RFID 在庫管理システム

棚卸 本店

弱  強

詳細

JANコード	数量
4512345678901	2
4512345678902	1


残を表示中 変更

正:99999 誤:99999 残:99999

棚卸 タグ検索 終了

RFID 在庫管理システム

棚卸 本店

弱  強

JAN

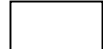


詳細	数量
144015112 16	2
291896702 10	1

残を表示中 変更

正:99999 誤:99999 残:99999

棚卸 タグ検索 終了

凡例

-  リストボックス
-  ボタン
- 文字 ラベル
-  電波強度調整

 商品検索画面
(3.8章を参照)

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	一覧を表示	ボタン	読み取った商品を表示する。
3	詳細/JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード/詳細を切り替える。
4	JAN コード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
5	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。。
6	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
7	変更	ボタン	表示内容を、「残のみ表示」「正のみ表示」「誤のみ表示」に切り替える。
8	正/誤/残	ラベル	棚卸対象商品の未読み取り件数と読み取り済み件数(在庫状況と合致したものは「正」、合致しなかったものは「誤」)
9	棚卸	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信する。
10	タグ検索	ボタン	リスト上のタグIDを選択してこのボタンを押下することで該当タグの商品検索画面を表示する。
11	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

3.6.2 処理内容

クラウドサーバアプリケーションから棚卸予定情報を取得してタグ読取画面を表示する。

「詳細」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名/商品名/色名/サイズ名/上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

ハンディリーダのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

タグ読取停止状態の場合、画面上に「一覧を表示中」ボタンが表示されて押下するとそこまでに読み取った情報が一覧表示される。

一覧は初期状態で「残を表示」の状態、「変更」ボタンを押下するごとに表示が「正を表示中」→「誤を表示中」→「残を表示中」と切り替わる。

棚卸ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDと結果をクラウドサーバアプリケーション送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。

棚卸ボタン押下後に MANICA リテール PC クライアントアプリケーションで棚卸結果の確定処理を行うまでは棚卸ボタン押下時点からの再開が可能。

タグ検索ボタン押下時は選択されたリスト上の未読取商品または誤の商品の商品検索画面を表示する。

終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

3.6.3 上位システムとの通信

棚卸画面呼び出し時、および棚卸ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

3.6.4 読み取り対象となる商品

棚卸画面で読み取り対象となる商品は以下のとおり

- ・在庫情報に自拠点の在庫として登録されていない商品
- ・在庫情報に自拠点の在庫で状態が「在庫中」で登録されている商品
- ・在庫情報に自拠点の在庫で状態が「移動中」で登録されている商品

3.7 出荷（指示有）画面

3.7.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

出荷(指示有) 本店

← 弱 → 強

出荷先 ▼

出荷指示 No	出荷先
201412010003	新宿店
201412010002	四ツ谷店
201412010001	横浜倉庫

RFID 在庫管理システム

出荷(指示有) タグ読取中 本店

← 弱 → 強

出荷指示 ▼

JANコード	数量
4512345678901	2
4512345678902	1

残数: 9999

RFID 在庫管理システム

出荷(指示有) タグ読取中 本店

← 弱 → 強

出荷指示 ▼

詳細	数量
144015112 16	2
291896702 10	1

残数: 9999

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	出荷先	ドロップダウン	出荷先を選択する。
3	出荷指示 No	リストボックス項目	未処理の出荷指示 No を降順で表示する。
4	出荷先	リストボックス項目	出荷先店舗／倉庫名を表示する。
5	タグ読取	ボタン	タグ読取画面を表示する。
6	詳細／JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード／詳細を切り替える。
7	出荷指示	ドロップダウン	処理する出荷指示番号を選択する。
8	JAN コード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
9	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。
10	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
11	残数	ラベル	出荷予定で未読取の残数を表示する。
12	出荷	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信する。
13	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

3.7.2 処理内容

出荷指示 No 一覧画面で、対象の出荷指示 No を選択してタグ読取ボタンを押下すると、タグ読取画面を表示する。

ハンディリーダーのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグに書き込まれた JAN コードが明細行に存在する場合、明細の数量及び残数をマイナスする。

数量が0になった明細行は削除(非表示)する。明細にない商品を読み取った場合はエラー画面を表示する。

「詳細」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

出荷ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDをクラウドサーバアプリケーションに送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。

終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

3.7.3 上位システムとの通信

出荷(指示有)画面呼び出し時、および出荷ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

3.7.4 読み取り対象となる商品

出荷(指示有)画面で読み取り対象となる商品は以下のとおり


- ・在庫情報に自拠点の在庫として登録されている商品
- ・ピッキング情報に該当する出荷指示 No で登録されている商品

3.8 商品検索画面

3.8.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

商品検索 **タグ読取中** 本店


弱  強

JANコード	強度
4512345678901	25
4512345678902	0

検索中です...

RFID 在庫管理システム

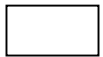
商品検索 **タグ読取中** 本店

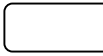
弱  強

詳細	強度
144015112 16	25
291896702 10	0


検索中です...

凡例

 リストボックス

 ボタン

文字 ラベル

 電波強度調整

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	詳細/JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード/詳細を切り替える。
3	JANコード	リストボックス項目	検索する商品の JAN コードを表示する。
4	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。
5	強度	リストボックス項目	それぞれのタグ ID の電波反応強度。(0 が最低で 40 が最高)
6	検索済	ボタン	リスト上の商品を選択してこのボタンを押下することで該当商品を検索対象からはずす。
7	終了	ボタン	メインメニューに戻る。ただし、棚卸画面から遷移した場合は棚卸画面に戻る。

3.8.2 処理内容

MANICA リテール PC クライアントアプリケーションの商品検索条件入力画面で指定された条件に合致する商品情報を MANICA リテールサーバ

アプリケーションから取得して画面に表示する。棚卸画面から遷移した場合は棚卸処理でまだ読み取っていないタグの商品情報を画面に表示する。

ハンディリーダのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグの電波反応強度をリスト上に表示されているそれぞれのタグの位置に表示する。

「表示切替」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

リスト上の商品をタップした場合はその商品のみを検索を行い、電波反応強度に従いビープ音を鳴らす。再度同じ商品をタップした場合は商品タップ前の状態に戻りリスト上全商品の検索を行いビープ音は鳴らさない。

検索済ボタン押下時は選択されたリスト上の商品を削除して以降の検索対象からはずす。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。ただし、棚卸画面から遷移した場合は棚卸画面に戻る。

3.8.3 上位システムとの通信

メインメニューから商品検索画面を呼び出した際にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。それ以外では上位システムとの通信は行わない。

また、棚卸画面から商品検索画面を呼び出した場合は上位システムとの通信は行わない。

3.9 タグ情報照会画面

3.9.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

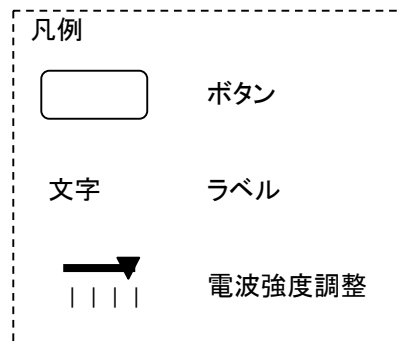
タグ情報照会 タグ読取中 本店

弱 強

タグID	A0000111000F010
ブランド名	JBA
商品名	A00001
色	11
サイズ	F
上代	100,000
シリアル No	16

RFID タグを読ませてください。

履歴
終了



【商品選択画面表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	タグ ID	ラベル	読み取った RFID タグのタグ ID を表示する。
3	ブランド名	ラベル	読み取った RFID タグのブランド名を表示する。
4	商品名	ラベル	読み取った RFID タグの商品名を表示する。
5	色	ラベル	読み取った RFID タグの色名を表示する。
6	サイズ	ラベル	読み取った RFID タグのサイズ名を表示する。
7	上代	ラベル	読み取った RFID タグの上代を表示する。
8	シリアル No	ラベル	読み取った RFID タグからシリアル No を切り出して表示する。
9	履歴	ボタン	サーバに読み取ったタグ ID を送信する。
10	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

3.9.2 処理内容

ハンディリーダーのトリガボタン押下にて RFID タグ読み込みを開始し、読み取ったタグのタグ情報を画面上に表示する。

履歴ボタン押下時はクラウドにタグ ID を送信する。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

3.9.3 上位システムとの通信

タグ読み込み時にクラウドから商品情報取得要求で情報を取得する。


履歴ボタン押下時にクラウドにタグ ID を送信する。

3.10 返品画面

3.10.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

返品 タグ読取中 本店

弱  強

返品元 ▼ 詳細


JANコード	数量
4512345678901	2
4512345678902	1

読み取り点数:9999

返品 終了

RFID 在庫管理システム

返品 タグ読取中 本店

弱  強

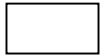
返品元 ▼ JAN

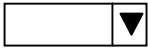
詳細	数量
144015112 16	2
291896702 10	1

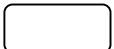
読み取り点数:9999

返品 終了


凡例

 リストボックス

 ドロップダウン

 ボタン

文字 ラベル

 電波強度調整

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	返品元	ラベル	返品元を選択する。
3	詳細/JAN	ボタン	一覧表示の JAN コード/詳細を切り替える。
4	JANコード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
5	詳細	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を「 」で区切って表示する。
6	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
7	読み取り点数	ラベル	読み取ったタグの点数を表示する。
8	返品	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信する。
9	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

3.10.2 処理内容

ハンディリーダーのトリガボタンを1回押下すると RFID タグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグに書き込まれた JAN コード単位にまとめてリストに表示する。

「詳細」ボタンを押下すると JAN コードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

返品ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDをクラウドサーバアプリケーションに送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。

終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

3.10.3 上位システムとの通信

返品画面呼び出し時、および返品ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

3.10.4 読取対象となる商品

返品画面で読み取り対象となる商品は以下のとおり

・在庫情報に自拠点で状態が「在庫中」「移動中」「売上済」で登録されていない商品[中野1]、あるいは「在庫なし」の商品

4 MANICA リテール PC クライアントアプリケーション

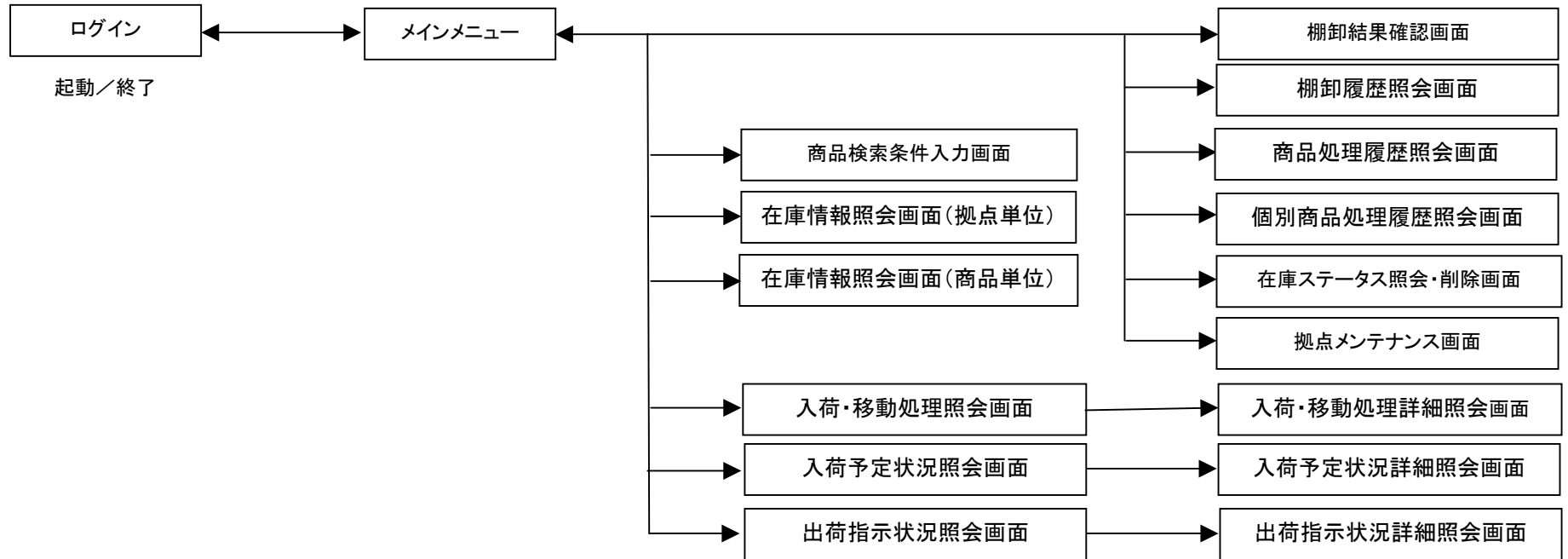
パソコン上で稼動する画面照会／マスタメンテナンスを行うアプリケーションプログラム。

4.1 概要

4.1.1 画面一覧

No	画面	内容	備考
1	ログイン画面	アプリケーションを使用する拠点を確定する。	
2	メインメニュー	アプリケーションのメインメニュー。	
3	商品検索条件入力画面	ハンディリーダーで商品検索する条件入力を行う。	
4	在庫情報照会画面(拠点単位)	拠点毎の在庫情報の照会を行う。	
5	在庫情報照会画面(商品単位)	商品毎の在庫情報の照会を行う。	
6	棚卸結果確認画面	棚卸結果の確認および確定を行う。	
7	棚卸履歴照会画面	過去に実施した棚卸結果の照会を行う。	
8	商品処理履歴照会画面	商品の処理履歴をSKU単位で照会を行う。	
9	個別商品処理履歴照会画面	商品の処理履歴を個品単位で照会を行う。	
10	在庫ステータス照会・削除	在庫商品の照会・削除を行う。	
11	入荷・移動処理照会画面	入荷・出荷処理の照会を行う。	
12	入荷・移動処理詳細照会画面	入荷・出荷処理毎の商品情報の照会を行う。	入荷・移動処理照会画面から遷移する。
13	入荷予定状況照会画面	入荷予定の処理状況の照会を行う。	
14	入荷予定状況詳細照会画面	入荷予定の商品情報の照会を行う。	入荷予定状況照会画面から遷移する。
15	出荷指示状況照会画面	出荷指示の処理状況の照会を行う。	
16	出荷指示状況詳細照会画面	出荷指示の商品情報の照会を行う。	出荷指示状況照会画面から遷移する。
17	拠点メンテナンス画面	店舗マスタの表示を行う。	

4.1.2 画面遷移図



4.2 ログイン画面

4.2.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム

ログイン

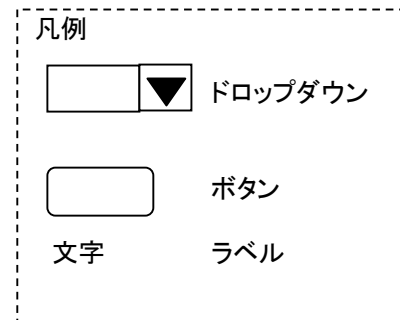
拠点名 ▼

社員コード

社員名

拠点を選択してください。

ログイン
終了



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ドロップダウン	処理を行う拠点の拠点名を選択する。
2	社員コード	テキストボックス	処理を行うスタッフの社員コードを入力する。
3	ログイン	ボタン	選択した拠点にログインしてメインメニューを表示する。
4	終了	ボタン	クラウドサーバアプリケーションを終了する。

4.2.2 処理内容

クラウドサーバアプリケーションから拠点マスタの拠点コード、拠点名一覧を取得してドロップダウンにセットし自拠点を選択状態にしてログイン画面を表示する。

ログインボタン押下時は選択された拠点を処理拠点としてメインメニューを表示する。

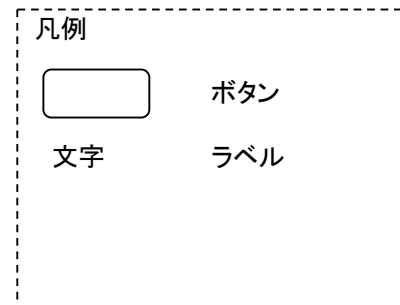
終了ボタン押下にて MANICA リテール PC クライアントアプリケーションを終了する。

※倉庫店舗区分が1(倉庫)または2(店舗)、3(仕入先)の拠点のみ表示する。

4.3 メインメニュー

4.3.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム	
メインメニュー	本店 四谷 太郎
商品検索条件入力	個別商品処理履歴照会
在庫情報照会(拠点単位)	在庫ステータス照会・削除
在庫情報照会(商品単位)	入荷・移動・返品処理照会
棚卸結果確認	入荷予定状況照会
棚卸履歴照会	出荷指示状況照会
商品処理履歴照会	拠点メンテナンス
処理を選択してください。	
ログアウト	



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	社員氏名	ラベル	ログインした社員氏名を表示する。
3	商品検索条件入力	ボタン	商品検索条件入力画面を表示する。
4	在庫情報照会(拠点単位)	ボタン	在庫情報照会(拠点単位)画面を表示する。
5	在庫情報照会(商品単位)	ボタン	在庫情報照会(商品単位)画面を表示する。
6	棚卸結果照会	ボタン	棚卸結果照会画面を表示する。
7	棚卸履歴照会	ボタン	棚卸履歴照会画面を表示する。

No	項目名	種別	内容
8	商品処理履歴照会	ボタン	商品の入荷／移動／棚卸／売上履歴照会画面を表示する。
9	個別商品処理履歴照会	ボタン	個別商品(タグ ID 単位)の入荷／移動／棚卸／売上履歴照会画面を表示する。
10	在庫ステータス照会・削除	ボタン	在庫ステータス照会・削除画面を表示する。
11	入荷・移動・返品処理照会	ボタン	入荷・移動・返品処理照会画面を表示する。
12	入荷予定状況照会	ボタン	入荷予定状況照会画面を表示する。
13	出荷予定状況照会	ボタン	出荷予定状況照会画面を表示する。
14	拠点メンテナンス	ボタン	拠点マスタメンテナンス画面を表示する。
15	ログアウト	ボタン	ログイン画面に戻る。

4.3.2 処理内容

ログインした拠点名を表示する。各ボタン押下にて該当する画面を表示する。

ログアウトボタン押下にて拠点名を消去してログイン画面に戻る。

4.4 商品検索条件入力画面

4.4.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム									
商品検索条件入力								本店	
商品コード	<input type="text" value="A000001"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>				
表示対象拠点選択		商品名	<input type="text"/>	検索対象件数 9999					
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	数量	拠点名		
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10	仕入先		
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20	仕入先		
:	:	:	:	:	:	:	:		
よろしければ検索条件確定ボタンを押下してください。									
照会			検索商品確定				終了		

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
設定		
全て選択		
全て解除		
終了		

凡例

- テキストボックス
- ▼ ドロップダウン
- ボタン
- 文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	検索する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	検索する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	検索する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	検索対象件数	ラベル	照会ボタン押下にて表示する結果の商品数合計を表示する。
8	ブランド名	ラベル	商品検索する商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
9	商品コード	ラベル	商品検索する商品の商品コードを表示する。
10	商品名	ラベル	商品検索する商品の商品名を表示する。
11	色	ラベル	商品検索する商品の色名を表示する。
12	サイズ	ラベル	商品検索する商品のサイズ名を表示する。
13	上代	ラベル	商品検索する商品の上代を表示する。実証実験では「¥0」。

No	項目名	種別	内容
14	数量	ラベル	商品検索する商品の数量を表示する。
15	拠点名	ラベル	商品検索する商品の拠点名を表示する。
16	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
17	検索商品確定	ボタン	結果をハンディリーダーで実施する商品検索の検索対象商品として保存する。
18	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.4.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある在庫情報を検索して結果をSKU単位にまとめて一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

検索商品確定ボタン押下時は表示されたすべての商品コード、色、サイズ、数量をこの後実施するハンディリーダーでの商品検索の検索対象商品として保存する。この結果は再度本画面で検索商品を確認するまでハンディリーダーで実施する商品検索の検索対象商品として残る。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.5 在庫情報照会画面（拠点単位）

4.5.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム											
在庫情報照会(店舗単位)							本店				
商品コード	<input type="text" value="A000001"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>						
表示対象拠点選択		商品名	<input type="text"/>	合計数量 9999							
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	数量	拠点名				
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10	仕入先				
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20	仕入先				
:	:	:	:	:	:	:	:				
検索情報を入力して照会ボタンを押下してください。											
<input type="button" value="照会"/>		<input type="button" value="エクスポート"/>				<input type="button" value="終了"/>					

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="設定"/>		<input type="button" value="全て選択"/>
<input type="button" value="全て解除"/>		<input type="button" value="終了"/>

凡例

テキストボックス

▼ ドロップダウン

チェックボックス

ボタン

文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	照会する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	照会する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	照会する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	合計数量	ラベル	照会ボタン押下にて表示する結果の商品数合計を表示する。
8	ブランド名	ラベル	検索された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
9	商品コード	ラベル	検索された商品の商品コードを表示する。
10	商品名	ラベル	検索された商品の商品名を表示する。
11	色	ラベル	検索された商品の色名を表示する。
12	サイズ	ラベル	検索された商品のサイズ名を表示する。
13	上代	ラベル	売上商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。

No	項目名	種別	内容
14	数量	ラベル	検索された商品の拠点ごとの数量を表示する。
15	拠点名	ラベル	検索された商品が存在する拠点名を表示する。
16	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
17	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
18	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.5.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある在庫情報を検索して結果を拠点ごとの SKU 単位で一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.6 在庫情報照会画面（商品単位）

4.6.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム						
在庫情報照会(商品単位)						本店
商品コード	<input type="text" value="A000001"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>	
<input type="button" value="表示対象拠点選択"/>		商品名	<input type="text"/>			
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	数量
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20
:	:	:	:	:	:	:
検索情報を入力して照会ボタンを押下してください。						
<input type="button" value="照会"/>		<input type="button" value="エクスポート"/>			<input type="button" value="終了"/>	

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="全て選択"/> <input type="button" value="全て解除"/> <input type="button" value="終了"/>		

凡例

- テキストボックス
- ▼ ドロップダウン
- チェックボックス
- ボタン
- 文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	照会する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	照会する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	照会する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	ブランド名	ラベル	検索された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
8	商品コード	ラベル	検索された商品の商品コードを表示する。
9	商品名	ラベル	検索された商品の商品名を表示する。
10	色	ラベル	検索された商品の色名を表示する。
11	サイズ	ラベル	検索された商品のサイズ名を表示する。
12	上代	ラベル	検索された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
13	数量	ラベル	検索された商品の全拠点合計の数量を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
15	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
16	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.6.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある在庫情報を検索して結果を全拠点の商品を SKU 単位にまとめて一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.7 棚卸結果確認画面

4.7.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム										
棚卸結果確認								本店		
【合計】予定数 99 実績(正)99 実績(誤)99 棚卸残 99 在庫計上 99										
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	予定数	実績(正)	実績(誤)	棚卸残	
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0 10	5	1	5		
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0 20	20	2	0		
:	:	:	:	:	:	:	:	:		
よろしければ確定ボタンを押下してください。										
棚卸残ありのみ表示			確定		エクスポート			終了		

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	合計	ラベル	予定数、実績(正)、実績(誤)、棚卸残、在庫計上の合計を表示する。
3	ブランド名	ラベル	検索された棚卸結果のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
4	商品コード	ラベル	検索された棚卸結果の商品コードを表示する。
5	商品名	ラベル	検索された棚卸結果の商品名を表示する。
6	色	ラベル	検索された棚卸結果の色を表示する。
7	サイズ	ラベル	検索された棚卸結果のサイズを表示する。
8	上代	ラベル	検索された棚卸結果の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
9	予定数	ラベル	該当商品の棚卸予定数を表示する。
10	実績(正)	ラベル	該当商品の棚卸予定品の読取済み数を表示する。
11	実績(誤)	ラベル	該当商品の棚卸予定品以外の読取済み数を表示する。

No	項目名	種別	内容
12	棚卸残	ラベル	該当商品の棚卸し予定数－実績(正)数を表示する。
13	棚卸残ありのみ表示	ボタン	棚卸結果のうち棚卸残ありのもののみ表示する。押下後このボタンは「すべて表示」に変わる。
14	確定	ボタン	棚卸結果を確定する。
15	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
16	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.7.2 処理内容

ログインしている拠点の棚卸結果をクラウドサーバ上にある棚卸情報から取得して SKU 単位にまとめて一覧表示する。

棚卸残ありのみ表示ボタン押下時は棚卸残が0以外の商品のみ表示し、ボタン名称を「すべて表示」に変更する。すべて表示ボタンを押下した場合は初期状態のとおりすべての棚卸商品を表示する。

確定ボタン押下時はパスワード入力画面を表示してあらかじめ設定ファイルに登録されたパスワードを入力し、OKであれば棚卸結果にあわせて在庫情報を更新、商品処理履歴情報に棚卸、または削除の履歴情報を追加してメインメニューに戻る。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての商品コード、色、サイズ、予定数、実績(正)、実績(誤)、棚卸残、棚名をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.8 棚卸履歴照会画面

4.8.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム											
棚卸履歴照会										本店	
表示対象拠点選択			棚卸日付								
棚卸日付	棚卸時刻	ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	予定数	実績(正)	実績(誤)	棚卸残
2013/10/15	10:10:10	西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10	5	1	5
2013/10/15	10:10:10	西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20	20	2	0
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
検索条件を指定して照会ボタンを押下してください。											
照会			棚卸残ありのみ表示			エクスポート			終了		

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択	本店	
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
設定		
全て選択		
全て解除		
終了		

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
3	棚卸日付	テキストボックス	検索する棚卸履歴の日付を入力する。
4	棚卸日付	ラベル	検索された棚卸結果の棚卸日付を表示する。
5	棚卸時刻	ラベル	検索された棚卸結果の棚卸時刻を表示する。
6	ブランド名	ラベル	検索された棚卸結果のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
7	商品コード	ラベル	検索された棚卸結果の商品コードを表示する。
8	商品名	ラベル	検索された棚卸結果の商品名を表示する。
9	色	ラベル	検索された棚卸結果の色名を表示する。
10	サイズ	ラベル	検索された棚卸結果のサイズ名を表示する。
11	上代	ラベル	検索された棚卸結果の上代を表示する。
12	予定数	ラベル	該当商品の棚卸予定数を表示する。
13	実績(正)	ラベル	該当商品の棚卸予定品の読取済み数を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	実績(誤)	ラベル	該当商品の棚卸予定品以外の読取済み数を表示する。
15	棚卸残	ラベル	該当商品の棚卸し予定数－実績(正)数を表示する。
16	照会	ボタン	指定された条件で棚卸履歴を検索して結果を表示する。
17	棚卸残ありのみ表示	ボタン	棚卸結果のうち棚卸残ありのもののみ表示する。押下後このボタンは「すべて表示」に変わる。
18	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
19	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.8.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある棚卸情報を検索して結果を SKU 単位にまとめて一覧表示する。

棚卸残ありのみ表示ボタン押下時は棚卸残が0以外の商品のみ表示し、ボタン名称を「すべて表示」に変更する。すべて表示ボタンを押下した場合は初期状態のとおりすべての棚卸商品を表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.9 商品処理履歴照会画面

4.9.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム												
商品処理履歴照会											本店	
商品コード	<input type="text" value="A000001"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>							
表示対象拠点選択	<input type="text"/>	商品名	<input type="text"/>	日付	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	処理	<input type="text"/>	<input type="text" value="▼"/>		
日付	ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	数量	拠点名	処理	移動先	返品元	
13/1/5	西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10	仕入先	入荷			
13/1/5	西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20	仕入先	移動	得意先		
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
検索情報を入力して照会ボタンを押下してください。												
<input type="button" value="照会"/>			<input type="button" value="エクスポート"/>						<input type="button" value="終了"/>			

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="全て選択"/> <input type="button" value="全て解除"/> <input type="button" value="終了"/>		

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	照会する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	照会する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	照会する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	日付 (From/To)	テキストボックス	照会する日付を入力する。
8	処理	ドロップダウン	照会する処理を選択する。
9	日付	ラベル	検索された履歴の日付を表示する。
10	ブランド名	ラベル	検索された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
11	商品コード	ラベル	検索された商品の商品コードを表示する。
12	商品名	ラベル	検索された商品の商品名を表示する。
13	色	ラベル	検索された商品の色名を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	サイズ	ラベル	検索された商品のサイズ名を表示する。
15	上代	ラベル	検索された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
16	数量	ラベル	検索された商品の数量を表示する。
17	拠点名	ラベル	検索された商品が存在する拠点名を表示する。
18	処理	ラベル	検索された商品の処理内容を表示する。(入荷／移動／棚卸／削除／IC タグ発注／返品)
19	移動先	ラベル	検索された商品の移動先を表示する。
20	返品元	ラベル	検索された商品の返品元を表示する。
21	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
22	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
23	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.9.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある商品処理履歴情報を検索して結果を日付／拠点／処理ごとの SKU 単位で一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.10 個別商品処理履歴照会画面

4.10.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム													本店			
個別商品処理履歴照会																
商品コード	<input type="text" value="A000001"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>											
<input type="button" value="表示対象拠点選択"/>	商品名	<input type="text"/>	日付	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	処理	<input type="text"/>	<input type="button" value="▼"/>							
日付	時刻	タグ ID	ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	シリアル No	J-TASシリアル No	T/C No	羽毛産地国	拠点名	処理	移動先	返品元
13/1/5	10:05	P00001	西川	2034-70596	羽毛布団	ブルー	S140x190	¥0	1	XXXX-999-12345	CA12345-001	ポーランド	仕入先	入荷		
13/1/5	17:45	P00001	西川	2034-70596	羽毛布団	ブルー	S140x190	¥0	1	XXXX-999-12346	CA12345-002	ポーランド	仕入先	移動	倉庫	
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
検索情報を入力して照会ボタンを押下してください。																
<input type="button" value="照会"/>			<input type="button" value="選択したタグに限定"/>			<input type="button" value="エクスポート"/>			<input type="button" value="タグ ID 取込"/>			<input type="button" value="終了"/>				

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="全て選択"/> <input type="button" value="全て解除"/> <input type="button" value="終了"/>		

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	照会する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	照会する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	照会する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	日付 (From/To)	テキストボックス	照会する日付を入力する。
8	処理	ドロップダウン	照会する処理を選択する。
9	日付	ラベル	検索された履歴の処理日付を表示する。
10	時刻	ラベル	検索された履歴の処理時刻を表示する。
11	タグ ID	ラベル	検索された商品のタグ ID を表示する。
12	ブランド名	ラベル	検索された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
13	商品コード	ラベル	検索された商品の商品コードを表示する。
14	商品名	ラベル	検索された商品の商品名を表示する。
15	色	ラベル	検索された商品の色名を表示する。
16	サイズ	ラベル	検索された商品のサイズ名を表示する。
17	上代	ラベル	検索された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
18	シリアル No	ラベル	検索された商品のタグ ID のシリアル No を表示する。
19	J-TAS シリアル No	ラベル	検索された商品の J-TAS シリアル No を表示する。
20	T/C No	ラベル	検索された商品の T/C No を表示する。
21	羽毛産地国	ラベル	検索された商品の羽毛産地国を表示する。
22	拠点名	ラベル	検索された商品が存在する拠点名を表示する。
23	処理	ラベル	検索された商品の処理内容を表示する。(入荷／移動／棚卸／削除／IC タグ発注／返品)
24	移動先	ラベル	検索された商品の移動先を表示する。
25	返品元	ラベル	検索された商品の返品元を表示する。
26	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
27	選択したタグに限定	ボタン	照会結果のうち選択したタグの情報だけを表示する。押下後このボタンは「すべて表示」に変わる。
28	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
29	タグ ID 取込	ボタン	ハンディで読み取ったタグ ID を取込み履歴を表示する。
30	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.10.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある商品処理履歴情報を検索して結果を一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

選択したタグに限定ボタン押下時は選択された商品のタグ ID の情報のみ表示し、ボタン名称を「すべて表示」に変更する。すべて表示ボタンを押下した場合は初期状態のとおりすべての棚卸商品を表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

タグ ID 取込ボタン押下時はハンディのタグ情報照会画面で履歴ボタンを押したときのタグ ID を取込み、そのタグ ID に絞って履歴を表示する。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.11 在庫ステータス照会・削除画面

4.11.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム									
在庫ステータス照会・削除								本店	
商品コード	<input type="text" value="2034-70596"/>	色	<input type="text"/>	サイズ	<input type="text"/>				
<input type="button" value="表示対象拠点選択"/>	商品名	<input type="text"/>	状態	<input type="text"/>	<input type="button" value="▼"/>				
タグ ID	ブランド名	商品名	商品コード	色	サイズ	上代	シリアル No	拠点名	状態
P00001	西川	キルトケット	2034-70596	ブルー	S140x190	¥0	1	仕入先	移動中
P00002	西川	キルトケット	2034-70596	ブルー	S140x190	¥0	1	仕入先	在庫中
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
削除したい商品を選択して削除ボタンを押下してください。									
<input type="button" value="照会"/>		<input type="button" value="削除"/>		<input type="button" value="エクスポート"/>		<input type="button" value="終了"/>			

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	商品コード	テキストボックス	照会する商品の商品コードを入力する。
3	色	テキストボックス	照会する商品の色を入力する。
4	サイズ	テキストボックス	照会する商品のサイズを入力する。
5	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
6	商品名	テキストボックス	検索する商品の商品名を入力する。
7	状態	ドロップダウン	照会する商品の状態(在庫中／移動中)を選択する。
8	タグ ID	ラベル	検索された商品のタグ ID を表示する。
9	ブランド名	ラベル	検索された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
10	商品コード	ラベル	検索された商品の商品コードを表示する。
11	商品名	ラベル	検索された商品の商品名を表示する。
12	色	ラベル	検索された商品の色名を表示する。
13	サイズ	ラベル	検索された商品のサイズ名を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	上代	ラベル	検索された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
15	シリアル No	ラベル	検索された商品のシリアル No を表示する。
16	拠点名	ラベル	検索された商品が存在する拠点名を表示する。
17	状態	ラベル	検索された商品の状態を表示する。(在庫中／移動中)
17	照会	ボタン	指定された条件で在庫情報を検索して結果を表示する。
18	削除	ボタン	指定された商品を在庫情報から削除する。
19	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
20	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.11.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある在庫情報を検索して結果を個品単位で一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

削除ボタン押下時はパスワード入力画面を表示してあらかじめ設定ファイルに登録されたパスワードを入力し、OKであれば選択された商品を在庫情報から削除して商品処理履歴情報に削除履歴を追加する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.12 入荷・移動・返品処理照会画面

4.12.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム				
入荷・移動・返品処理照会				本店
表示対象拠点選択		日付	~	処理
日付	時刻	拠点名	処理	移動先
13/1/5	10:30	倉庫	入荷	
13/1/5	17:30	仕入先	移動	倉庫
:	:	:	:	
参照したい処理を選択して詳細ボタンを押下してください。				
照会		詳細		終了

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
設定		全て選択
		全て解除
		終了

凡例

- テキストボックス
- ▼ ドロップダウン
- ボタン
- 文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
4	日付 (From/To)	テキストボックス	照会する日付を入力する。
5	処理	ドロップダウン	照会する処理を選択する。
6	日付	ラベル	検索された処理の日付を表示する。
7	時刻	ラベル	検索された処理の時刻を表示する。
8	拠点名	ラベル	検索された処理を実施した拠点名を表示する。
9	処理	ラベル	検索された処理内容を表示する。(入荷/移動/返品)
10	移動先	ラベル	検索された処理内容が移動の場合、移動先を表示する。
11	照会	ボタン	指定された条件で処理履歴情報を検索して結果を表示する。
12	詳細	ボタン	入荷・移動処理詳細照会画面を表示する。
13	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
14	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.12.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある商品処理履歴情報を検索して結果を日付／時刻／拠点／処理ごとに一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

詳細ボタン押下時は選択した処理の入荷・移動・返品処理詳細照会画面を表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての日付、時刻、拠点名、処理をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

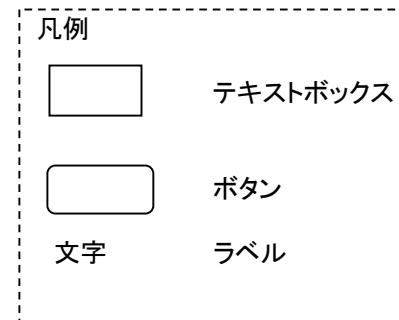
終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.13 入荷・移動・返品却処理詳細照会画面

4.13.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム						
入荷・移動・返品処理詳細照会						本店
拠点名 仕入先 処理日付 2013/1/5 時刻 13:10 入荷 合計数量 99						
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	数量
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	10
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	20
:	:	:	:	:	:	:

伝票作成
エクスポート
終了



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	拠点名	ラベル	入荷・移動・返品処理を実施した拠点名を表示する。
3	日付	ラベル	入荷・移動・返品処理を実施した日付を表示する。
4	時刻	ラベル	入荷・移動・返品処理を実施した時刻を表示する。
5	処理	ラベル	処理内容(入荷/移動/返品)を表示する。
6	合計数量	ラベル	入荷・移動・返品された商品の合計を表示する。
7	ブランド名	ラベル	入荷・移動・返品された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
8	商品コード	ラベル	入荷・移動・返品された商品の商品コードを表示する。
9	商品名	ラベル	入荷・移動・返品された商品の商品名を表示する。
10	色	ラベル	入荷・移動・返品された商品の色名を表示する。
11	サイズ	ラベル	入荷・移動・返品された商品のサイズ名を表示する。
12	上代	ラベル	入荷・移動・返品された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
13	数量	ラベル	入荷・移動・返品された商品の数量を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	伝票作成	ボタン	納品伝票を作成する。
15	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
16	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.13.2 処理内容

入荷・移動・返品処理照会画面で選択された処理で入荷・移動・返品された商品情報をクラウドサーバ上にある商品処理履歴から取得して SKU 単位にまとめて表示する。照会結果は各列の値でソートすることが可能。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

伝票作成ボタン押下時は納品伝票(EXCEL)を作成して表示する。

終了ボタン押下時は入荷・移動・返品処理照会画面に戻る。

4.14 入荷予定状況照会画面

4.14.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム						
入荷予定状況照会						本店
表示対象拠点選択		納品日	~	未完了	<input type="checkbox"/>	
入荷予定 No		出荷元		▼		
入荷予定 No	出荷元	出荷先	納品日	時刻	完了	過不足
201412010001	物流倉庫	新宿店	2015/1/5	10:30	済	
201412020003	本店	新宿店	2015/1/5	17:00		過不足あり
:	:	:	:	:	:	:
参照したい処理を選択して詳細ボタンを押下してください。						
照会		詳細		削除		未受一覧表示
エキスポート			終了			

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
設定		全て選択
		全て解除
		終了

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点を表示する。
2	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選択する。
3	納品日 (From/To)	テキストボックス	照会する納品日を入力する。
4	入荷予定 No	テキストボックス	照会する入荷予定 No を入力する。
5	出荷元	ドロップダウン	出荷元を選択する。
6	未完了	チェックボックス	完了していない入荷予定のみを表示する。
7	入荷予定 No	ラベル	入荷予定の入荷予定 No を表示する。
8	出荷元	ラベル	入荷予定の出荷元を表示する。
9	納品日	ラベル	入荷予定の納品日を表示する。
10	時刻	ラベル	入荷予定の納品時刻を表示する。まだ入荷されていない場合は空白。
11	完了	ラベル	入荷予定が全商品読み取り済みの場合は「済」を表示、削除済みの場合は「削除」を表示する。
12	過不足	ラベル	入荷予定の中に予定数量≠実績数量の商品が存在する場合は「過不足あり」を表示する。ただし、まだ入荷処理を実施していない(納品時刻が空)場合は表示しない。

No	項目名	種別	内容
13	照会	ボタン	指定された条件で処理履歴情報を検索して結果を表示する。
14	詳細	ボタン	入荷予定詳細照会画面を表示する。
15	削除	ボタン	完了していない入荷予定情報の状態を「削除」にする。
16	未受一覧表示/すべて表示	ボタン	未受一覧を表示するか、すべてを表示するかを切り替える。
17	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
18	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.14.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある入荷予定情報を検索して結果を入荷予定 No ごとに一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

詳細ボタン押下時は選択した入荷予定の詳細照会画面を表示する。

削除ボタン押下時は選択した処理の状態を「削除」に更新する。

未受一覧表示ボタン押下すると、未受のものだけを表示し、ボタン名がすべて表示に切り替わる。

すべて表示ボタン押下すると、すべてを表示し、ボタン名が未受一覧表示に切り替わる。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.15 入荷予定状況詳細照会画面

4.15.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム									
入荷予定状況詳細照会								本店	
拠点名 本店 納品日 2015/1/5 時刻 13:10									
入荷予定 No 201412010001 出荷元 物流倉庫 完了 合計数量 99 過不足あり									
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	予定数量	実績数量	残	
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	2	2	0	
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	1	0	1	
:	:	:	:	:	:	:	:	:	

過不足商品
エクスポート
終了

凡例

テキストボックス

ボタン

文字
ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	過不足あり	ラベル	入荷予定の中に予定数量≠実績数量の商品が存在する場合は「過不足あり」を表示する。ただし、まだ入荷処理を実施していない(納品時刻が空)場合は表示しない。
2	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
3	拠点名	ラベル	入荷先の拠点名を表示する。
4	納品日	ラベル	入荷予定の納品日を表示する。
5	時刻	ラベル	入荷処理を実施した時刻を表示する。まだ入荷されていない場合は空白。
6	入荷予定 No	ラベル	入荷予定の入荷予定 No を表示する。
7	出荷元	ラベル	入荷予定の出荷元を表示する。
8	完了	ラベル	入荷予定が全商品読み取り済みの場合は「完了」を表示する。
9	合計数量	ラベル	入荷された商品の合計を表示する。
10	ブランド名	ラベル	入荷された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
11	商品コード	ラベル	入荷された商品の商品コードを表示する。
12	商品名	ラベル	入荷された商品の商品名を表示する。

No	項目名	種別	内容
13	色	ラベル	入荷された商品の色名を表示する。
14	サイズ	ラベル	入荷された商品のサイズ名を表示する。
15	上代	ラベル	入荷された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
16	予定数量	ラベル	入荷予定の数量を表示する。
17	実績数量	ラベル	入荷された商品の実績数量を表示する。
18	残	ラベル	予定数量から実績数量を差し引いた残数を表示する。
19	過不足商品	ボタン	過不足がある商品のみ表示する。
20	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
21	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.15.2 処理内容

入荷予定状況照会画面で選択された入荷予定で入荷された商品情報をクラウドサーバ上にある処理履歴から取得して SKU 単位にまとめて表示する。照会結果は各列の値でソートすることが可能。

当画面の「過不足あり」表示はアラート停止をしても表示したままとする。

過不足商品ボタン押下時は予定超過商品(予定数<実績数、または予定無しの商品)または不足商品(予定数>実績数)のみ表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時は入荷予定状況照会画面に戻る。

4.16 出荷指示状況照会画面

4.16.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム					
出荷指示状況照会					本店
表示対象拠点選択		出荷日	~	未完了	<input type="checkbox"/>
出荷指示 No	<input type="text"/>	出荷先	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
出荷指示 No	出荷元	出荷先	出荷日	時刻	完了
201412010001	物流倉庫	新宿店	2015/1/5	10:30	済
201412020003	物流倉庫	六本木店	2015/1/5		
:	:	:	:	:	:
参照したい処理を選択して詳細ボタンを押下してください。					
照会		詳細		削除	
エキスポート			終了		

RFID 在庫管理システム		
表示対象拠点選択		本店
拠点コード	拠点名	対象
000001	本店	<input type="checkbox"/>
000002	新宿店	<input type="checkbox"/>
000003	秋葉原店	<input type="checkbox"/>
設定		全て選択
全て解除		終了

凡例

- テキストボックス
- ▼ ドロップダウン
- ボタン
- 文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点を表示する。
2	表示対象拠点選択	ボタン	照会する拠点を選擇する。
3	出荷日 (From/To)	テキストボックス	照会する出荷日を入力する。
4	出荷指示 No	テキストボックス	照会する出荷指示 Noを入力する。
5	出荷先	ドロップダウン	出荷先を選擇する。
6	未完了	チェックボックス	完了していない出荷指示のみを表示する。
7	出荷指示 No	ラベル	出荷指示の出荷指示 Noを表示する。
8	出荷先	ラベル	出荷指示の出荷先を表示する。
9	出荷日	ラベル	出荷指示の出荷日を表示する。
10	時刻	ラベル	出荷指示の出荷時刻を表示する。まだ出荷されていない場合は空白。
11	完了	ラベル	出荷済みの場合は「済」を表示、削除済みの場合は「削除」を表示する。
12	照会	ボタン	指定された条件で処理履歴情報を検索して結果を表示する。
13	詳細	ボタン	出荷指示詳細照会画面を表示する。

No	項目名	種別	内容
14	削除	ボタン	完了していない出荷指示情報の状態を「削除」にする。
15	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
16	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.16.2 処理内容

表示対象拠点選択ボタン押下時は前回設定された状態で表示対象拠点選択画面を表示する。

照会ボタン押下時は指定された条件でクラウドサーバ上にある出荷指示情報を検索して結果を出荷指示 No ごとに一覧表示する。

照会結果は各列の値でソートすることが可能。

詳細ボタン押下時は選択した出荷指示の詳細照会画面を表示する。

削除ボタン押下時は選択した処理の状態を「削除」に更新する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。



終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.17 出荷指示状況詳細照会画面

4.17.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム									
出荷指示状況詳細照会									本店
拠点名 物流倉庫 出荷日 2015/1/5 時刻 13:10 出荷指示 No 201412010001 出荷先 新宿店 完了 合計数量 99									
ブランド名	商品コード	商品名	色	サイズ	上代	指示数量	実績数量	欠品	
西川	2034-70596	キルトケット	ブルー	S140x190	¥0	2	2	0	
西川	1440-15112	羽毛掛ふとん	レッド	SL150x210	¥0	1	0	1	
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
欠品商品			エクスポート				終了		

凡例

	テキストボックス
	ボタン
文字	ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	拠点名	ラベル	出荷元の拠点名を表示する。
3	納品日	ラベル	出荷指示の出荷日を表示する。
4	時刻	ラベル	出荷処理を実施した時刻を表示する。まだ出荷していない場合は空白。
5	出荷指示 No	ラベル	出荷指示の出荷指示 No を表示する。
6	出荷先	ラベル	出荷指示の出荷先を表示する。
7	完了	ラベル	出荷済みの場合は「完了」を表示する。
8	合計数量	ラベル	出荷された商品の合計を表示する。
8	ブランド名	ラベル	出荷された商品のブランド名を表示する。実証実験では、「西川」。
9	商品コード	ラベル	出荷された商品の商品コードを表示する。
10	商品名	ラベル	出荷された商品の商品名を表示する。
11	色	ラベル	出荷された商品の色名を表示する。
12	サイズ	ラベル	出荷された商品のサイズ名を表示する。

No	項目名	種別	内容
13	上代	ラベル	出荷された商品の上代を表示する。実証実験では、「¥0」。
14	指示数量	ラベル	出荷指示の数量を表示する。
15	実績数量	ラベル	出荷された商品の実績数量を表示する。
16	欠品	ラベル	指示数量から実績数量を差し引いた残数を表示する。
17	エクスポート	ボタン	照会結果を CSV ファイルにエクスポートする。
18	欠品商品	ボタン	「欠品」が0以外の商品のみ表示する。
19	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.17.2 処理内容

出荷指示状況照会画面で選択された出荷指示で出荷された商品情報をクラウドサーバ上にある処理履歴から取得して SKU 単位にまとめて表示する。照会結果は各列の値でソートすることが可能。

欠品ボタン押下時は欠品が0以外の商品のみ表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時は入荷予定状況照会画面に戻る。

4.18 拠点メンテナンス画面

4.18.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム							
拠点マスタメンテナンス							本店
拠点コード	在庫用拠点	店舗倉庫区分	拠点名	移動	ハンディ ID	業務区分	
20001	20001	1	倉庫	即時	10	30	
30001	30001	2	得意先	積送	20	30	
30002	30001	3	仕入先	積送	30	30	
:	:	:	:	:	:		

凡例

リストボックス

ボタン

文字 ラベル

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	拠点コード	ラベル	拠点マスタの拠点コードを表示する。
3	在庫用拠点	ラベル	在庫情報を保持する拠点コードを表示する。実証実験では、「拠点コード」と同一
4	店舗倉庫区分	ラベル	店舗倉庫区分を表示する。
5	拠点名	ラベル	拠点マスタの拠点名を表示する。
6	移動	ラベル	即時、または積送を表示する。
7	業種区分	ラベル	業種区分を表示する
8	ハンディ ID	ラベル	各拠点で使用しているハンディリーダーの ID を表示する。
9	エクスポート	ボタン	拠点マスタを CSV ファイルにエクスポートする。
10	終了	ボタン	メインメニューに戻る。

4.18.2 処理内容

クラウドサーバ上にある拠点マスタ情報をリストにすべて表示する。

エクスポートボタン押下時は表示されたすべての情報をオペレータが指定した CSV ファイルにエクスポートする。

終了ボタン押下時はメインメニューに戻る。

4.18.3 拠点情報の追加および削除について

拠点情報は基幹システムから連携するため追加および削除はできない。

5 システムメンテナンスアプリケーション

MANICA リテールシステムのメンテナンスを行うパソコン上で稼動するシステムメンテナンスアプリケーションプログラム。

5.1 処理一覧

本アプリケーションに画面はありません。

5.1.1 処理一覧

No	処理	内容	備考
1	ソフトウェアアップデート	MANICA リテールサーバ/クライアントアプリケーションの最新版を自動的にアップデートする。	MANICA リテールシステム設定ファイルの配布も行う。
2	ログ情報採取	MANICA リテールサーバ/クライアントアプリケーションのログ情報を自動的に採取する。	

6 クラウドサーバアプリケーション

クラウドサーバ上で稼動する MANICA リテールシステムデータベースアクセスアプリケーションプログラム。

6.1 処理一覧

本アプリケーションに画面はありません。

6.1.1 処理一覧

No	処理	内容	備考
1	在庫情報アクセス	在庫情報データベース内容の照会/追加/修正/削除を行う。	
2	商品処理履歴アクセス	商品処理履歴データベース内容の照会/追加/修正/削除を行う。	
3	棚卸履歴アクセス	棚卸履歴データベース内容の照会/追加/修正/削除を行う。	
4	拠点マスタアクセス	拠点マスタデータベース内容の照会/追加/修正/削除を行う。	
5	商品マスタアクセス	商品マスタデータベース内容の照会/追加/修正/削除を行う。	

7 連携アプリケーション

PC 上で稼動するデータ連携アクセスアプリケーションプログラム。

7.1 処理一覧

FTP サーバからデータを取込み、クラウドサーバにアップロードするアプリケーションプログラム。

7.1.1 処理一覧

No	処理	内容	備考
1	拠点データ取込	拠点データの取込を行う	
2	社員データ取込	社員データの取込を行う	
3	入荷予定取込	入荷予定データの取込を行う	
4	出荷指示取込	出荷指示データの取込を行う	

7.2 拠点データ取込

7.2.1 処理内容

FTP サーバ上の拠点マスタデータをインポートする。

拠点コードで店舗マスタの店舗コードを検索して存在しない場合は追加、存在する場合は上書きする。

場所マスタインポート処理でデータの追加／更新に失敗した場合は該当データを覚えておき、後続のデータの処理を継続して最後に処理できなかったデータを表示するようにする。

7.2.2 取込ファイル名

以下のファイル名を取り込む。(yyyymmdd:年月日、00:当日の連番)

BSYyyyymmdd00.TXT

7.2.3 CSV ファイルレイアウト

インポートする CSV ファイルのレイアウトは以下のとおり。1行目以降にデータが格納される。

データの各項目は可変長

No	項目名	最大桁	内容
1	システム区分	2	“10”固定

No	項目名	最大桁	内容
2	データ区分	3	“BSY”固定
3	レコード区分	2	“20”固定
4	未使用		
5	拠点コード	24	
6	名称	100	拠点名称
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
10	未使用		
11	未使用		
12	未使用		
13	未使用		
14	未使用		
15	未使用		
16	区分 1		“30”固定
17	未使用		
18	未使用		
19	区分 2		“0”固定
20	区分 3		“01”固定
21	区分 4		“02”固定
22	区分 5		“0”固定
23	未使用		
24	未使用		
25	未使用		
26	送信データ作成日		yyyymmdd
27	送信データ作成時刻		hhmmss
28	住所	200	
29	パスワード	24	
30	Eメール	30	
31	倉庫店舗区分	1	0:その他、1:倉庫、2:店舗、3:仕入先、4:卸先、5:中核卸企業、6:RFID 製造メーカー、9:JBA
32	移動区分	1	0:積送移動店舗、1:即時移動店舗

7.3 社員データ取込

7.3.1 処理内容

FTP サーバ上の社員マスタデータをインポートする。

社員コードで社員情報の社員コードを検索して存在しない場合は追加、存在する場合は上書きする。

社員マスタインポート処理でデータの追加／更新に失敗した場合は該当データを覚えておき、後続のデータの処理を継続して最後に処理できなかったデータを表示するようにする。

7.3.2 取込ファイル名

以下のファイル名を取り込む。(yyyymmddhhmmss:年月日時分秒)

yyyymmddhhmmss_RFID_Employee.DAT

7.3.3 CSV ファイルレイアウト

インポートする CSV ファイルのレイアウトは以下のとおり。1 行目以降にデータが格納される。

データの各項目は可変長

No	項目名	最大桁	内容
1	社員コード	5	
2	氏名	60	
3	レコード区分	5	“L0001”固定
4	区分1	1	“0”固定
5	区分2	1	“1”固定

7.4 入荷予定取込

7.4.1 処理内容

FTP サーバ上の入荷予定データをインポートする。

7.4.2 取込ファイル名

以下のファイル名を取り込む。(yyyyymmdd:年月日、00:当日の連番)

STOCKyyyyymmdd00.TXT

7.4.3 CSV ファイルレイアウト

インポートする CSV ファイルのレイアウトは以下のとおり。1行目以降にデータが格納される。

データの各項目は可変長

No	項目名	最大桁	内容
1	区分	2	“10”固定
2	伝票 No	14	
3	行 No	4	“20”固定
4	発注日	8	yyyyymmdd
5	納品予定日	8	yyyyymmdd
6	出庫元拠点コード	24	
7	出庫先拠点コード	24	
8	JAN コード	13	
9	未使用		
10	未使用	1	“0”固定
11	未使用		
12	未使用		
13	未使用		
14	数量	9	
15	未使用		“0”固定
16	未使用		“0”固定
17	未使用		“0”固定
18	未使用		“0”固定
19	未使用		“0”固定
20	未使用		“00”固定
21	未使用		
22	未使用		

No	項目名	最大桁	内容
23	未使用		“100”固定
24	未使用		“0”固定

7.5 出荷指示取込

7.5.1 処理内容

FTP サーバ上の出荷指示データをインポートする。

7.5.2 取込ファイル名

以下のファイル名を取り込む。(yyyymmdd:年月日、0000:当日の連番)

ORDERyyyymmdd0000.TXT

7.5.3 CSV ファイルレイアウト

インポートする CSV ファイルのレイアウトは以下のとおり。1行目以降にデータが格納される。

データの各項目は可変長

No	項目名	最大桁	内容
1	区分	2	“10”固定
2	伝票 No	14	
3	行 No	4	“20”固定
4	出荷指示日	8	yyyymmdd
5	納品日	8	yyyymmdd
6	出庫元拠点コード	24	
7	出庫先拠点コード	24	
8	JAN コード	13	
9	未使用		
10	未使用	1	“0”固定
11	未使用		
12	未使用		

No	項目名	最大桁	内容
13	未使用		
14	数量	9	
15	未使用		“0”固定
16	未使用		“0”固定
17	未使用		“0”固定
18	未使用		“0”固定
19	未使用		“0”固定
20	未使用		“00”固定
21	未使用		
22	未使用		
23	未使用		“0”固定
24	未使用		“100”固定
25	未使用		“0”固定

8 MANICA リテールゲートアプリケーション

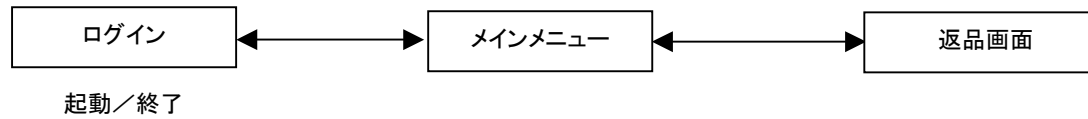
8.1 概要

8.1.1 画面一覧

No	画面	内容	備考
1	ログイン画面	アプリケーションを使用する拠点を確定する。	
2	メインメニュー	アプリケーションのメインメニュー。	
3	返品画面	返品元から返品があったときに使用する。 ・返品元を選択しログインした倉庫の在庫にする。	倉庫のみ

8.1.2 画面遷移図

【倉庫の場合】



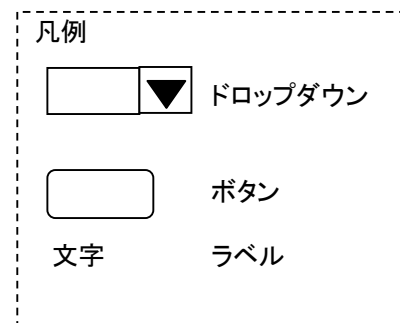
8.1.3 各処理で読み取る商品一覧

3.1.3 各処理で読み取る商品一覧を参照

8.2 ログイン画面

8.2.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム	
ログイン	
拠点コード	<input type="text"/>
社員コード	<input type="text"/>
拠点コード・社員コードを入力してください。	
<input type="button" value="ログイン"/>	<input type="button" value="終了"/>



8.2.2 処理内容

クラウドサーバアプリケーションから拠点マスタの拠点コード、代表拠点名一覧を取得してログイン画面を表示する。

拠点コード／社員コードを入力されたら該当する拠点名／社員氏名を表示する。ログインボタン押下時は入寮された拠点を処理拠点としてメインメニューを表示する。終了ボタン押下にて MANICA リテールゲートアプリケーションを終了する。

8.2.3 上位システムとの通信

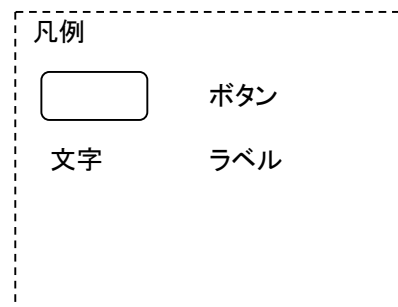
ログイン画面呼び出し時およびログインボタン押下時のみクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

それ以外では上位システムとの通信は行わない。

8.3 メインメニュー

8.3.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム	
メインメニュー	本店
<input type="button" value="返品"/>	
処理を選択してください。	
<input type="button" value="ログアウト"/>	



【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	返品	ボタン	返品画面を表示する。
2	ログアウト	ボタン	ログイン画面に戻る。

8.3.2 処理内容

ログインした拠点名を表示する。各ボタン押下にて該当する画面を表示する。

ログアップロードボタン押下にて拠点名を消去してログイン画面に戻る。

8.4 返品画面

8.4.1 画面イメージ

RFID 在庫管理システム	
返品	タグ読取中
本店	
返品元	<input type="text"/> ▼
弱 強	
JAN コード	数量
4512345678901	1
4512345678902	2
:	:
読み取り点数:9999	
タグ読取	返品
表示切替	削除
終了	

RFID 在庫管理システム		
返品		本店
返品元	<input type="text"/> ▼	
弱 強		
品番	色番	数量
144015112	1001	1
291896702	1002	2
:	:	:
読み取り点数:9999		
タグ読取	返品	表示切替
削除	終了	

【表示項目】

No	項目名	種別	内容
1	拠点名	ラベル	ログインした拠点名を表示する。
2	返品元	コンボボックス	返品元を選択する。
3	タグ読取	ボタン	タグ読取の ON/OFF を行う。
4	表示切替	ボタン	一覧表示の JAN コード／詳細を切り替える。
5	JAN コード	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている JAN コードを表示する。
6	詳細(品番・色番)	リストボックス項目	読み取ったタグがつけられている商品の品番(9桁)/色番(2桁)を表示する。
7	数量	リストボックス項目	読み取った商品の SKU 単位の数量を表示する。
8	読み取り点数	ラベル	読み取ったタグの点数を表示する。
9	返品	ボタン	読み取った商品の情報をクラウドサーバアプリケーションに送信する。
10	終了	ボタン	読み取った商品の情報を破棄してメインメニューに戻る。

8.4.2 処理内容

タグ読取ボタンを1回押下するとRFIDタグの読み取りを開始、もう一度押下すると読み取りを停止する。

読み取ったタグに書き込まれたJANコード単位にまとめてリストに表示する。

「詳細」ボタンを押下するとJANコードを元にブランド名／商品名／色名／サイズ名／上代をクラウドサーバアプリケーションから取得して表示する。

返品ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDをクラウドサーバアプリケーションに送信して登録結果を表示し、メインメニューに戻る。

終了ボタン押下時は読み取ったすべてのタグIDを破棄してメインメニューに戻る。

8.4.3 上位システムとの通信

返品画面呼び出し時、および返品ボタン押下時にクラウドサーバアプリケーションとの通信を行う。

8.4.4 読取対象となる商品

ハンディアプリを参照。

3.10.4 読取対象となる商品